

(仮称)第3老人福祉センター基本調査

報 告 書

平成 29 年 3 月

目次

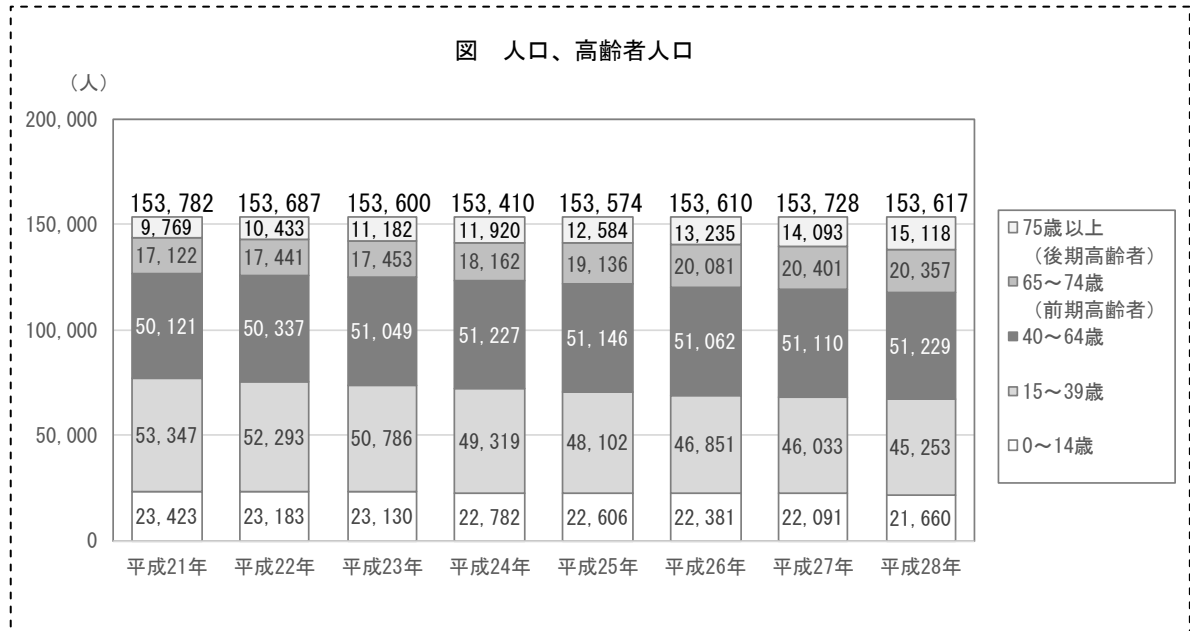
1. 前提条件の把握・整理	1
(1)高齢者人口等の状況	1
(2)地域別にみた高齢者の現状と将来予測	2
(3)本市における福祉計画等	8
2. 高齢・福祉施設の法体系等の整理	11
(1)法令上の定義.....	11
(2)建設可能な場所.....	12
3. 市内の類似施設等の整理	14
(1)施設一覧.....	14
4. 既存老人福祉センターの利用者調査	16
(1)利用者調査概要.....	16
(2)利用者調査結果.....	16
(3)利用状況.....	21

5. 市内公共交通網の状況調査	31
(1)運行状況.....	31
(2)利用状況.....	32
6. 老人福祉センター施設構成の検討	33
(1)第3老人福祉センター新設の必要性.....	33
(2)必要規模の設定.....	40
(3)第3老人福祉センター新設の敷地面積の設定.....	44
7. 市所有土地の状況把握	45
(1)前提条件.....	45
(2)検討結果.....	45
8. 建設候補地の検討	49
(1)検討項目.....	49
(2)検討結果.....	50
9. 建設概算工事算出	52
10. 整備スケジュール案の検討	53

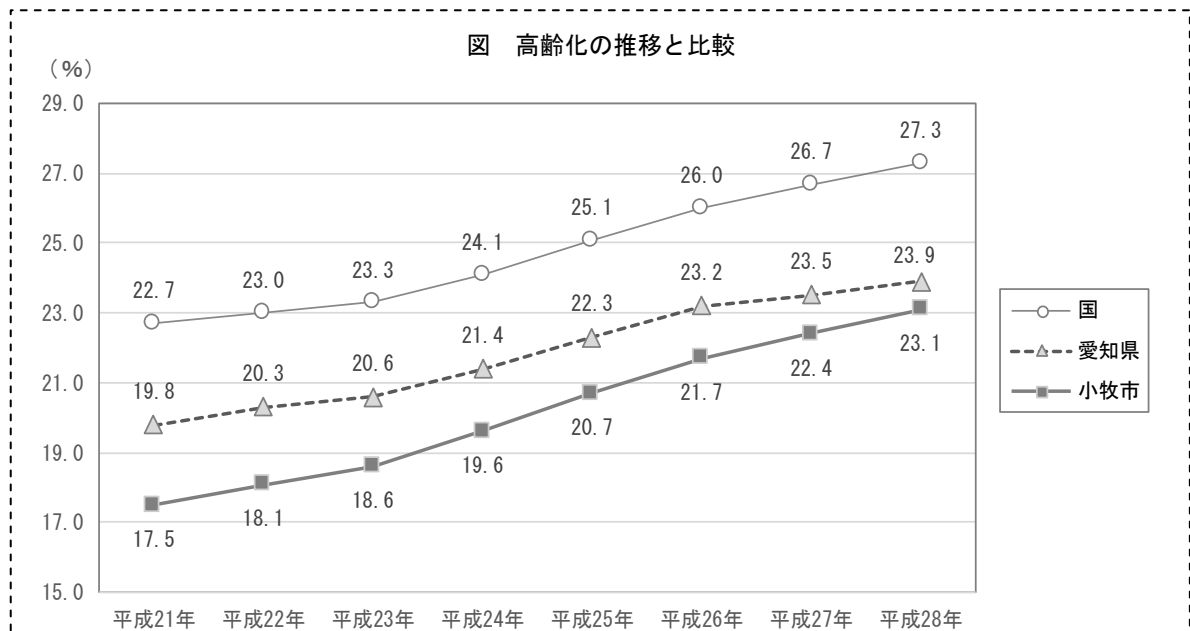
1. 前提条件の把握・整理

(1) 高齢者人口等の状況

本市の総人口は横ばい傾向にあり、平成28年では153,617人となっています。一方、高齢者人口（65歳以上）は年々増加し、平成28年には35,475人となっています。高齢化率は23.1%となっており、全国や愛知県平均を下回って推移しています。（いずれも10月1日現在）



※各年10月1日現在



資料：市／住民基本台帳、全国・県／総務省統計局（各年10月1日現在）

(2) 地域別にみた高齢者の現状と将来予測

① 小牧南部圏域

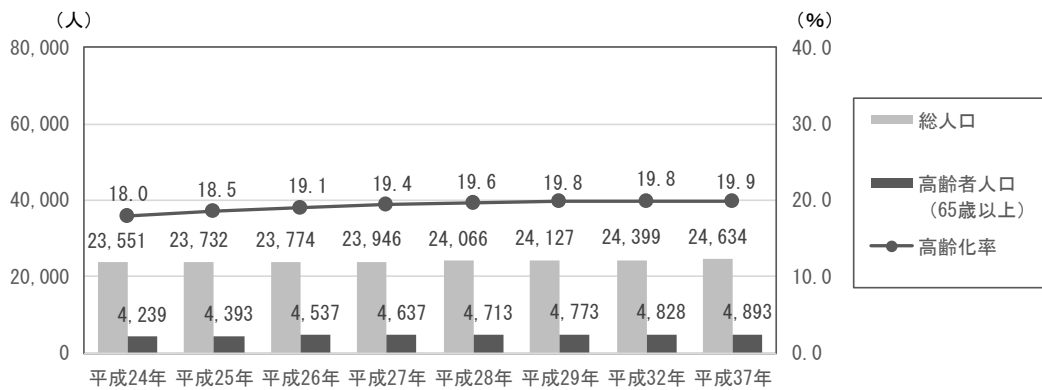


区画整理が進められている区域を含むことから、人口は増加しています。平成28年10月現在の高齢化率19.6%、全世帯数における高齢者のみ世帯の割合18.5%はいずれも全圏域で最も低い割合となっています。

図 小牧南部圏域の人口、高齢化率、ひとり暮らし高齢者数、世帯数の推移と推計

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成32年	平成37年
人口(人)	23,551	23,732	23,774	23,946	24,066	24,127	24,399	24,634
65歳以上高齢者数(人)	4,239	4,393	4,537	4,637	4,713	4,773	4,828	4,893
高齢化率(%)	18.0	18.5	19.1	19.4	19.6	19.8	19.8	19.9
世帯数(世帯)	10,258	10,375	10,395	10,562	10,707	10,567	10,790	11,173
65歳以上単身者のみの世帯	832	889	932	970	1,033	1,097	1,299	1,722
65歳以上の高齢者のみの世帯数(世帯)	1,663	1,760	1,835	1,903	1,980	2,115	2,448	3,125

※平成28年までは各年10月1日現在の実績値、平成29年以降は推計値



② 小牧中部圏域



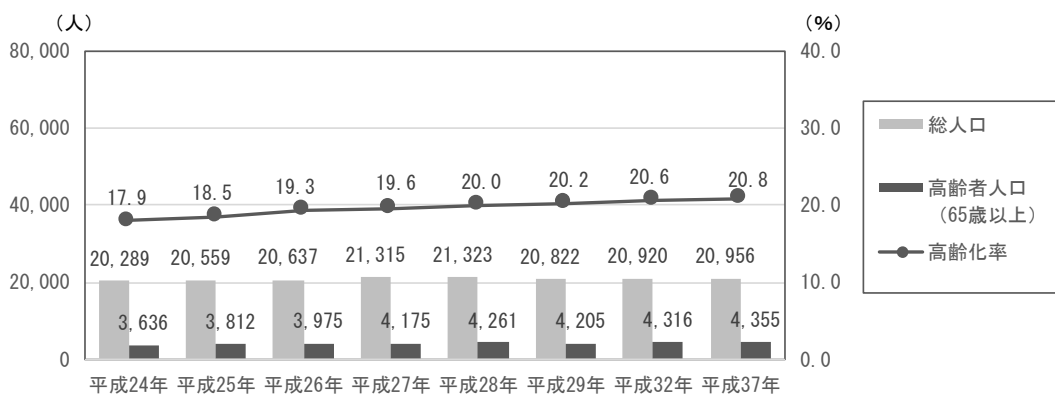
市の中心部、旧来の市街地を中心とした圏域で、近年は大規模なマンションの開発が進んでいることから、人口は増加しています。

平成 28 年 10 月現在の高齢化率は 20.0%と市内平均を下回っていますが、単身の高齢者の割合は 25.1%と全ての圏域で最も高い割合となっています。

図 小牧中部圏域の人口、高齢化率、ひとり暮らし高齢者数、世帯数の推移と推計

	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 32年	平成 37年
人口（人）	20,289	20,559	20,637	21,315	21,323	20,822	20,920	20,956
65歳以上高齢者数（人）	3,636	3,812	3,975	4,175	4,261	4,205	4,316	4,355
高齢化率（%）	17.9	18.5	19.3	19.6	20.0	20.2	20.6	20.8
世帯数（世帯）	8,772	8,981	9,086	9,487	9,626	9,536	10,060	10,999
65歳以上単身者のみの世帯	783	852	929	1,031	1,068	1,202	1,552	2,378
65歳以上の高齢者のみの世帯数（世帯）	1,419	1,539	1,640	1,774	1,829	2,024	2,514	3,610

※平成28年までは各年10月1日現在の実績値、平成29年以降は推計値



③ 小牧西部圏域



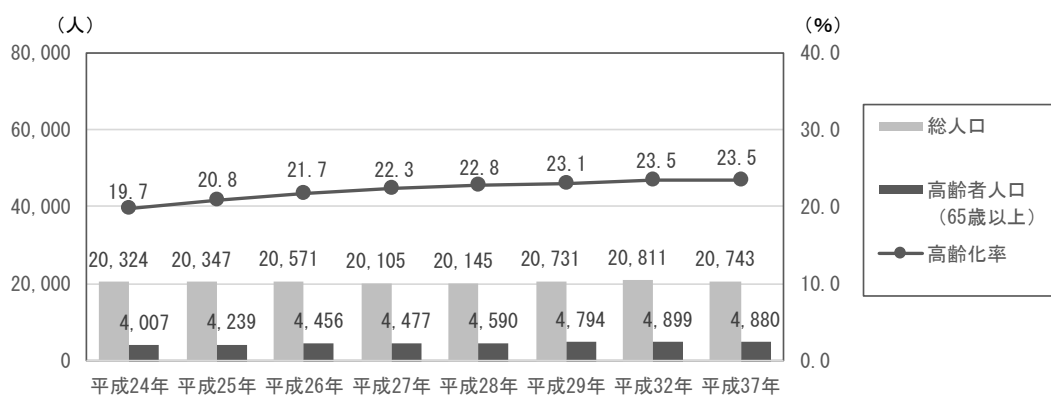
幹線道路が集まり、工場や倉庫が多く立地する環境にある圏域です。

平成28年10月現在の高齢化率22.8%、単身高齢者の割合18.8%、高齢者のみ世帯の割合19.8%はいずれも市内平均を下回っています。

図 小牧西部圏域の人口、高齢化率、ひとり暮らし高齢者数、世帯数の推移と推計

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成32年	平成37年
人口（人）	20,324	20,347	20,571	20,105	20,145	20,731	20,811	20,743
65歳以上高齢者数（人）	4,007	4,239	4,456	4,477	4,590	4,794	4,899	4,880
高齢化率（%）	19.7	20.8	21.7	22.3	22.8	23.1	23.5	23.5
世帯数（世帯）	8,697	8,793	9,024	8,866	8,964	9,592	10,119	11,063
65歳以上単身者のみの世帯	691	723	800	813	862	1,019	1,316	2,016
65歳以上の高齢者のみの世帯数（世帯）	1,410	1,528	1,659	1,686	1,773	2,119	2,632	3,779

※平成28年までは各年10月1日現在の実績値、平成29年以降は推計値



④ 味岡圏域



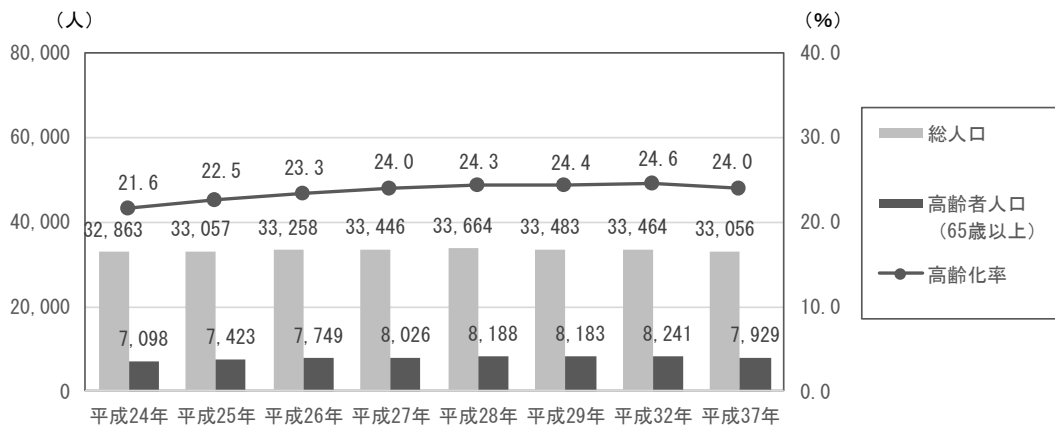
高度経済成長期を中心に開発された団地が多く、人口は市内で2番目に多い圏域です。

平成28年10月現在の高齢化率24.3%、単身高齢者の割合20.1%、高齢者のみ世帯の割合23.8%はいずれも市内の平均を上回っており、特に単身の高齢者は1,649人と全圏域で最も多くなっています。

図 味岡圏域の人口、高齢化率、ひとり暮らし高齢者数、世帯数の推移と推計

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成32年	平成37年
人口(人)	32,863	33,057	33,258	33,446	33,664	33,483	33,464	33,056
65歳以上高齢者数(人)	7,098	7,423	7,749	8,026	8,188	8,183	8,241	7,929
高齢化率(%)	21.6	22.5	23.3	24.0	24.3	24.4	24.6	24.0
世帯数(世帯)	13,542	13,691	13,901	14,056	14,259	14,481	15,322	16,834
65歳以上単身者のみの世帯	1,255	1,353	1,480	1,559	1,649	1,906	2,374	3,425
65歳以上の高齢者のみの世帯数(世帯)	2,679	2,860	3,070	3,249	3,398	3,774	4,820	7,248

※平成28年までは各年10月1日現在の実績値、平成29年以降は推計値



⑤ 篠岡圏域



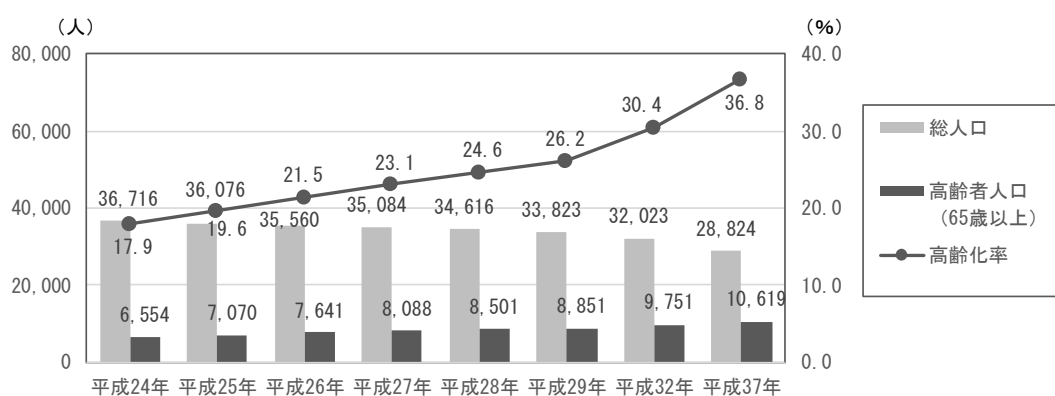
桃花台ニュータウンと、それを取り囲む旧来からの集落により構成されており、福祉施設も多く設置されている圏域です。人口は減少傾向にあります。

平成 28 年 10 月現在の高齢化率 24.6%、単身高齢者数の割合 17.7% はいずれも市内平均を下回っている一方、高齢者のみ世帯の割合は 24.2%と全圏域で最も高くなっています。

図 篠岡圏域の人口、高齢化率、ひとり暮らし高齢者数、世帯数の推移と推計

	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 32年	平成 37年
人口（人）	36,716	36,076	35,560	35,084	34,616	33,823	32,023	28,824
65歳以上高齢者数（人）	6,554	7,070	7,641	8,088	8,501	8,851	9,751	10,619
高齢化率（%）	17.9	19.6	21.5	23.1	24.6	26.2	30.4	36.8
世帯数（世帯）	13,599	13,579	13,543	13,573	13,619	13,453	13,372	13,239
65歳以上単身者のみの世帯	1,144	1,225	1,325	1,428	1,503	1,658	2,065	2,979
65歳以上の高齢者のみの世帯数（世帯）	2,336	2,575	2,842	3,094	3,301	3,816	5,121	8,360

※平成28年までは各年10月1日現在の実績値、平成29年以降は推計値



⑥ 北里圏域



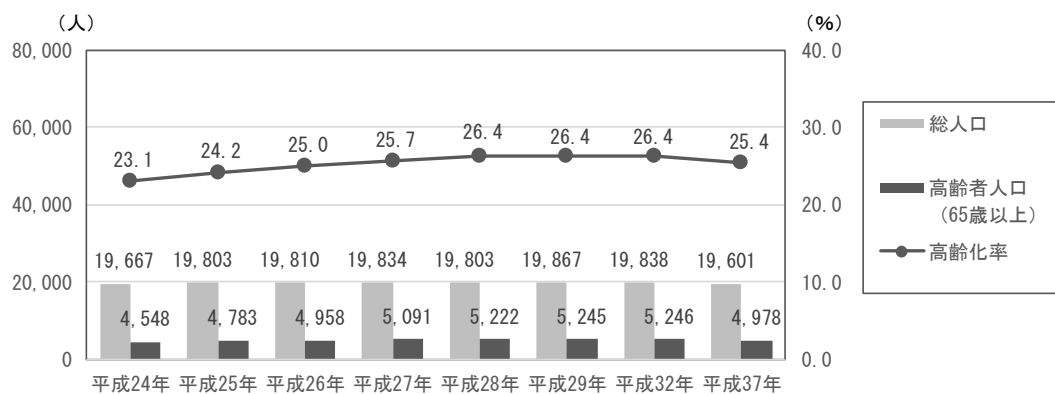
平成 28 年 10 月現在の高齢化率は 26.4%と全ての圏域の中で最も高くなっています。

単身高齢者数の割合は 18.7%と市内平均を下回っていますが、高齢者のみ世帯数の割合は全世帯の 24.0%と市内の平均を上回っています。

図 北里圏域の人口、高齢化率、ひとり暮らし高齢者数、世帯数の推移と推計

	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 32年	平成 37年
人口（人）	19,667	19,803	19,810	19,834	19,803	19,867	19,838	19,601
65歳以上高齢者数（人）	4,548	4,783	4,958	5,091	5,222	5,245	5,246	4,978
高齢化率（%）	23.1	24.2	25.0	25.7	26.4	26.4	26.4	25.4
世帯数（世帯）	8,089	8,240	8,356	8,474	8,591	8,758	9,185	9,944
65歳以上単身者のみの世帯	714	799	862	903	979	1,128	1,497	2,400
65歳以上の高齢者のみの世帯数（世帯）	1,580	1,747	1,859	1,943	2,059	2,340	2,989	4,494

※平成28年までは各年10月1日現在の実績値、平成29年以降は推計値



(3) 本市における福祉計画等

① 第6次小牧市総合計画 新基本計画

◆基本施策8の高齢者福祉

◆基本施策の展開方向

- | |
|-----------------------------------|
| 1 社会参加と生きがいを支援します
2 在宅生活を支援します |
|-----------------------------------|

② 第6次小牧市高齢者保健福祉計画

◆基本理念

「いきがい・支え合い・助け合い」

◆基本目標

- I. いきいきとした潤いのある暮らしづくり
- II. 自立を支え合う地域づくり
- III. 質が高く安定した介護保険事業運営

◆施策項目

I. 健康づくりと介護予防の充実

○健康診査・検査の推進

○健康に関して学ぶ場や相談の場の充実

第1、第2老人福祉センター での健康相談

毎月1回、医師による健康相談を実施するほか、随時看護師による健康相談を実施します。

○介護予防事業の充実及び推進

II. 生きがいをづくりと社会参加

○生涯学習・趣味・スポーツ活動の促進

老人福祉センターの運営

60歳以上の方に健康の増進や生きがいのある生活を送っていただくための施設で、地域住民との交流や軽スポーツ、娯楽、健康増進、教養・生きがいをづくり講座などを開催します。

○シルバー人材センター・老人クラブ活動への支援

○地域活動・就労・ボランティア活動への促進

◆老人福祉センターの整備の考え方

- 第1老人福祉センター（野口の郷）については、老朽化や多様化したニーズに対応するため、現在の敷地内において、再整備を行います。
- 第2老人福祉センター（小針の郷）では、トレーニング機器を活用した介護予防教室が好評なのをはじめ、老人福祉センター全体として利用者は増加しています。
- 新たな老人福祉センターについては、利用者や地域の方々の声、ニーズ、効果、地域バランス等事業内容や、センターのあり方について、引き続き調査、研究をすすめます。

③ 第2次健康日本21こまき計画 健康こまきいきいきプラン

■ 基本理念

市民が積極的に健康づくり取組み、社会全体が支援する、元気でいきいきとした長寿社会

■ 基本方針

1. 自分自身の健康づくりの推進
2. 生涯を通じた健康づくりの支援
3. 社会全体で支える健康づくりの推進
4. 具体的な計画目標の設定と評価

高齢期（65歳以上）今までの経験を活かし、自分らしく生きる

【健康上の着眼点・課題】

- 生きがい
- うつ状態や引きこもり
- 健康的な生活習慣づくり
- 相談の機会づくり

保健センター、市民センター、老人福祉センターにおいて健康に関する相談を行います。

保健センター

④ 小牧市立地適正化計画

本市では、今年度、小牧市型コンパクトシティの形成を具体的に進めるための方策として、立地適正化計画を策定しました。その中において、人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持していくために居住を誘導する区域の設定や医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導するための区域を設定しています。

図 居住誘導区域

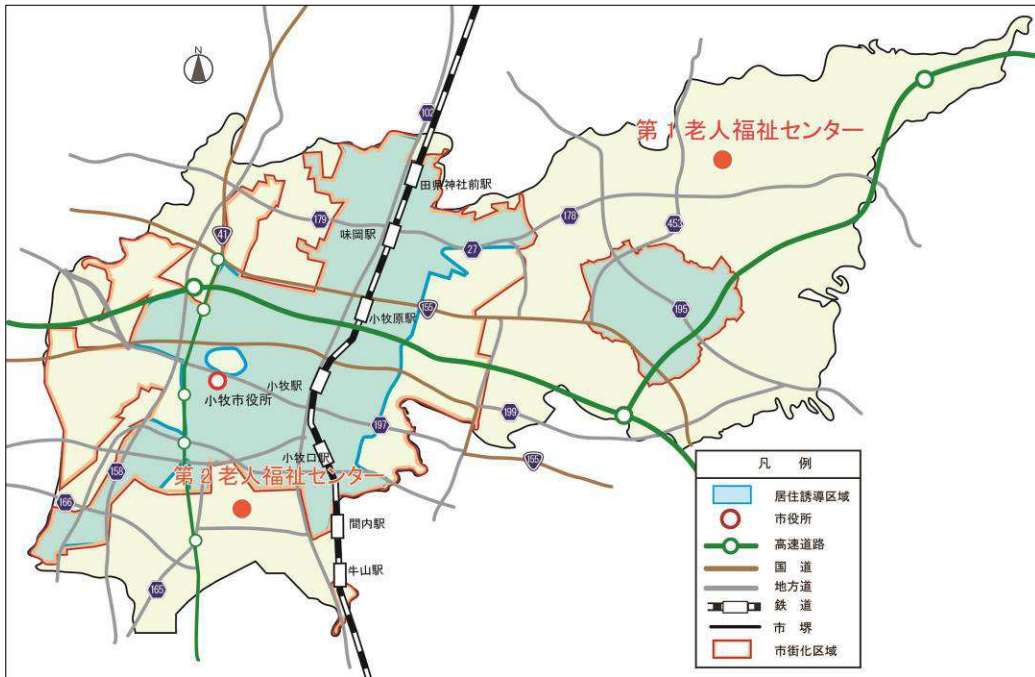
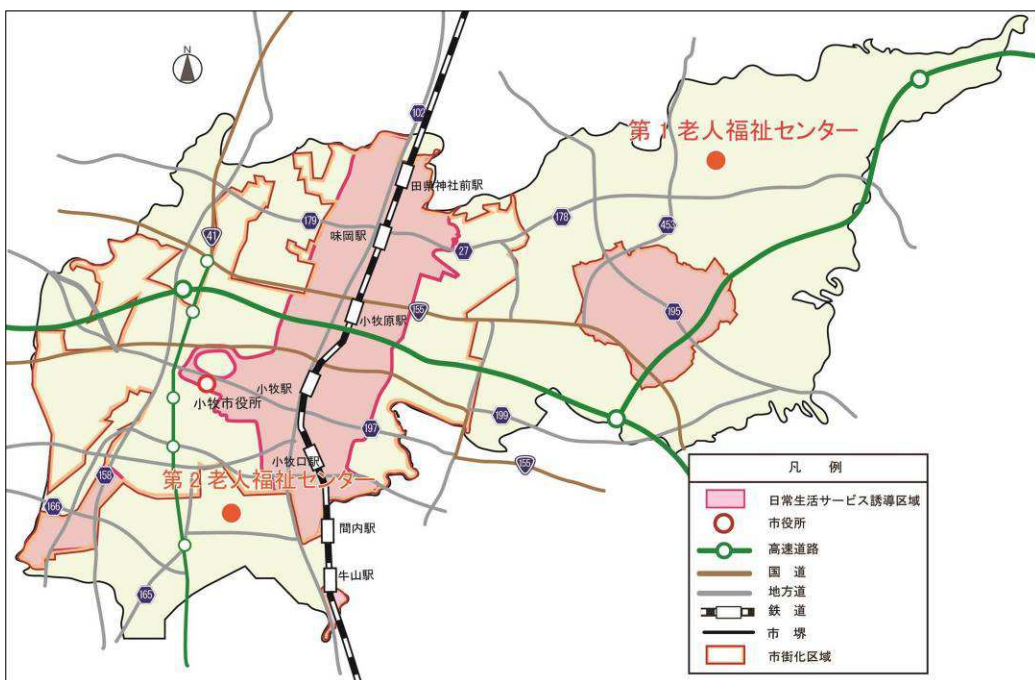


図 日常生活サービス誘導区域



2. 高齢・福祉施設の法体系等の整理

(1) 法令上の定義

老人福祉センター(老人福祉法 20 条の 7) は、無料又は低額な料金で老人に関する各種の相談に応ずるとともに、老人に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する施設になります。その分類は、特 A 型・A 型・B 型(老人福祉法による老人福祉センターの設置及び運営について(昭和 52 年社老 48 号))に区分されます。本市が設置している 2 か所の老人福祉センターは特 A 型です。

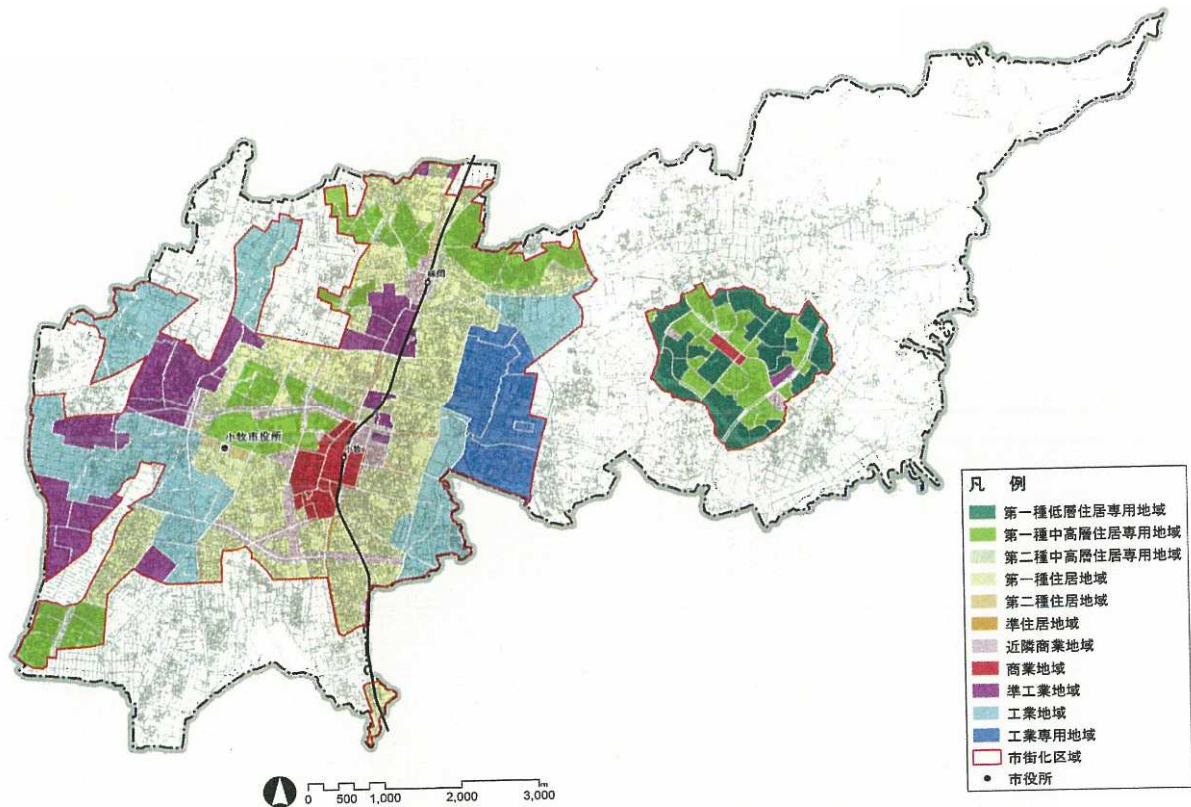
区 分	老 人 福 祉 セ ン タ ー		
	特 A 型	A 型	B 型
設営運営 主 体	区市町村	地方公共団体または 社会福祉法人	地方公共団体または 社会福祉法人
利用資格	60 歳以上の者	60 歳以上の者	60 歳以上の者
利 用 料	無料	無料	無料
事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種相談 ・ 健康増進に関する 指導 ・ 生業および就労の 指導 ・ 機能回復訓練の実 施 ・ 教養講座などの実 施 ・ 老人クラブに対す る援助など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種相談 ・ 生業および就労の 指導 ・ 機能回復訓練の実 施 ・ 教養講座などの 実施 ・ 老人クラブに対す る援助など 	<ul style="list-style-type: none"> A 型の機能を補完す る次に掲げる事業 ・ 各種相談 ・ 教養講座の実施 ・ 老人クラブに対す る援助

(2) 建設可能な場所

老人福祉施設は、建築基準法上は法別表第1(2)項に規定する特殊建築物で、いわゆる「病院・診療所等」に分類されます。

既存の老人福祉センターは、平成19年の都市計画法の改正前の事業であったため、市街化調整区域内での建設が認められましたが、法改正後において、新たに老人福祉センターを建設する場合は、基本的に市街化区域内での建設となります。建築基準法による用途地域内の建築制限により、600㎡以上の大規模の老人福祉センターは第一種低層住居専用地域には建築できません。

図 用途地域の指定状況



なお、市街化調整区域内で建設せざるを得ない場合には、以下に記載している開発審査会基準に適合する必要がありますが、要件を満たすのは困難であると考えられます。

市街化調整区域内でできる開発行為（愛知県 HP より）

法第 3 4 条の各号のいずれかに該当し、知事の許可を受けたもの。

（法第 3 4 条第 1～14 号）

(13) 市街化区域では困難又は不相当であり、かつ市街化を促進させないもので、開発審査会の議を経たもの。(14 号)

愛知県 開発審査会基準 第 18 号

社会福祉施設

社会福祉法第 2 条に規定する社会福祉事業の用に供する施設又は更生保護事業法第 2 条第 1 項に規定する更生保護事業の用に供する施設（以下「社会福祉施設」という。）のための開発行為又は建築行為で、申請の内容が、自己の業務用のもの（社会福祉施設の一部を他の社会福祉事業を営む者が使用する場合を含む。）で、次の各項に該当するものとする。

- 1 当該施設の設置及び運営が別表に定める基準に適合しているとして、社会福祉施設の許認可権限を有する社会福祉施設担当部局（以下「社会福祉施設担当部局」という。）と十分な連絡調整がとれたものであること。
- 2 別表に掲げる施設のうち、福祉サービスを受ける通所者又は入所者が直接利用する施設であること。ただし、やむを得ず当該施設に附属して設けられる訪問介護ステーション等の社会福祉施設については、この限りではない。
- 3 次の各号のいずれかに該当するものであること。
 - (1) 近隣に係る医療施設、社会福祉施設等が存在し、これらの施設と当該許可に係る社会福祉施設のそれぞれがもつ機能とが密接に連携しつつ立地又は運用する必要がある場合
 - (2) 当該施設を利用する者の安全等を確保するため立地場所に配慮する必要がある場合
 - (3) 当該施設が提供するサービスの特性から、当該申請地周辺の資源、環境等の活用が必要である場合
- 4 市町村の福祉施策及び都市計画の観点から支障ない旨の所在市町村長の副申書が添付されているものであること。
- 5 開発又は建築を行なうために他法令による許認可等が必要な場合は、その許認可等が受けられるものであること。

別表（関連箇所抜粋）

関係法	施設・事業名	設置及び運営基準等	社会福祉施設担当部局
老人福祉法	老人福祉センター	老人福祉法による老人福祉センター設置及び運営について（昭和 52 年社老第 48 号）	県 （福祉相談センター）

本基準に該当するもののうち、開発区域の面積又は敷地面積が 3,000 平方メートル以下のものは、開発審査会の議を経たものとみなす。

3. 市内の類似施設等の整理

(1) 施設一覧

本市では、高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するものとして老人福祉センターを2か所設置しています。

表 市内の老人福祉センター

名称	所在地	敷地面積	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	開所時間	休所日
第1 老人福祉センター 野口の郷	小牧市大字野口 2426番地1	11,175.68㎡	1,785.2	昭和58	鉄筋コンクリート	午前9時～午後4時30分	日曜・祝日（敬老の日を除く）、 年末年始
第2 老人福祉センター 小針の郷	小牧市小針 二丁目572番地2	5,525.71㎡	1,927.6	平成21	鉄筋コンクリート	平日 午前9時～午後4時30分 土曜日・毎月第3日曜日 午前9時～午後8時	日曜日（第3日曜日を除く）、 祝日（敬老の日を除く）、年末年始
合計			3,712.8				

①事業内容

- ・生活、健康等の相談及び指導に関すること
- ・教養の向上及びレクリエーションに関すること

②利用対象者

- ・市内に居住する満60歳以上の方

※第2老人福祉センターは、土曜日、第3日曜日に限り、60歳未満の方も利用することができる

③配置状況

図 老人福祉センター位置図



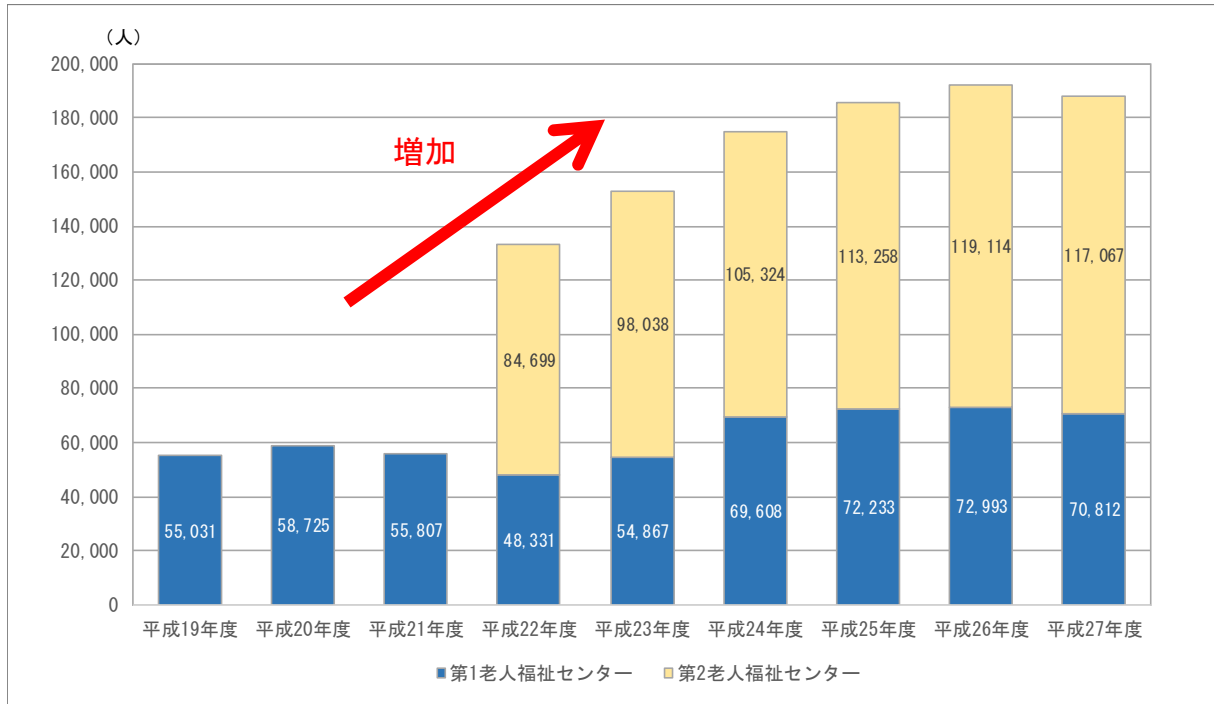
④利用状況

第1老人福祉センターは、平成20年度から平成22年度にかけて微減しましたが、平成23年度以降は増加傾向にあります。

第2老人福祉センターは、平成22年度の84,699人から平成27年度の117,067人で推移しています。

両センターともに、全体的には増加傾向にあります。

図 施設別年間利用者数の推移



4. 既存老人福祉センターの利用者調査

(1) 利用者調査概要

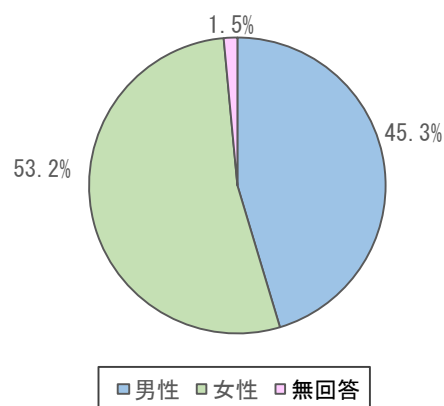
【調査時期】	平成 28 年 10 月 19 日・20 日、11 月 1 日
【対象者】	第 1・第 2 老人福祉センター利用者
【調査方法】	対面式によるアンケート調査記入

(2) 利用者調査結果

イ) 性別・年齢

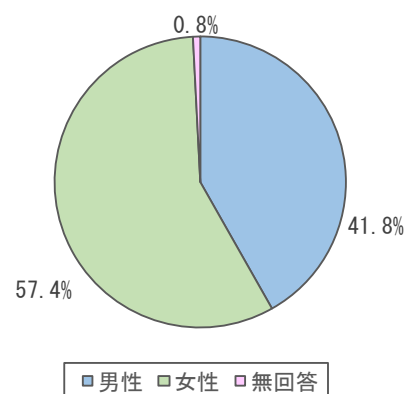
利用者を性別で見ると、女性が半数以上を占めており、男性は約 45%でした。

選択肢	件	比率
1. 男性	93	45.3%
2. 女性	109	53.2%
無回答	3	1.5%
合計	205	100.0%



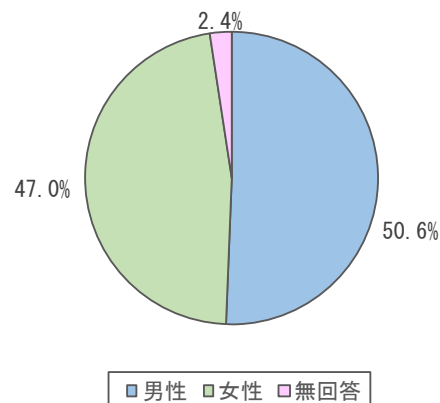
a 第 1 老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 男性	51	41.8%
2. 女性	70	57.4%
無回答	1	0.8%
合計	122	100.0%



b 第 2 老人福祉センター

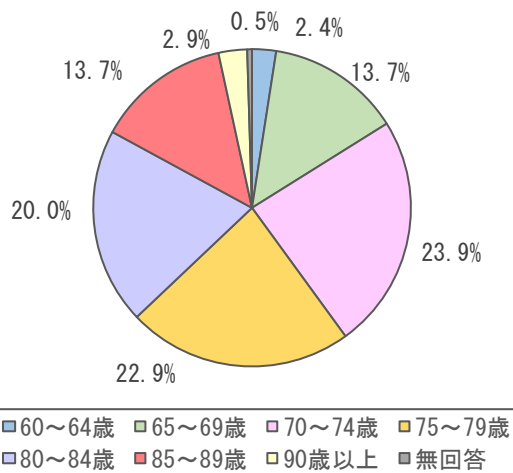
選択肢	件	比率
1. 男性	42	50.6%
2. 女性	39	47.0%
無回答	2	2.4%
合計	83	100.0%



ロ) 年齢

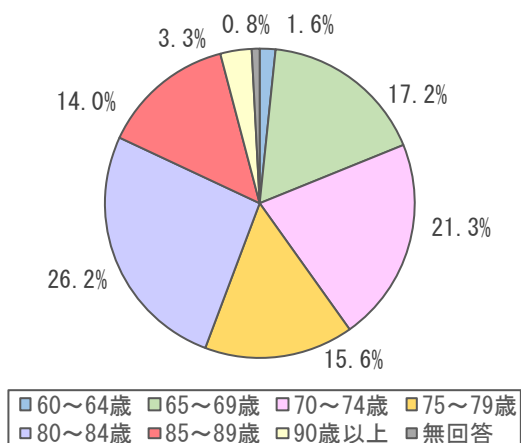
利用者を年齢別で見ると、70歳代が約47%と最も多く、次いで80歳代（約34%）の順でした。

選択肢	件	比率
1. 60～64歳	5	2.4%
2. 65～69歳	28	13.7%
3. 70～74歳	49	23.9%
4. 75～79歳	47	22.9%
5. 80～84歳	41	20.0%
6. 85～89歳	28	13.7%
7. 90歳以上	6	2.9%
無回答	1	0.5%
合計	205	100.0%



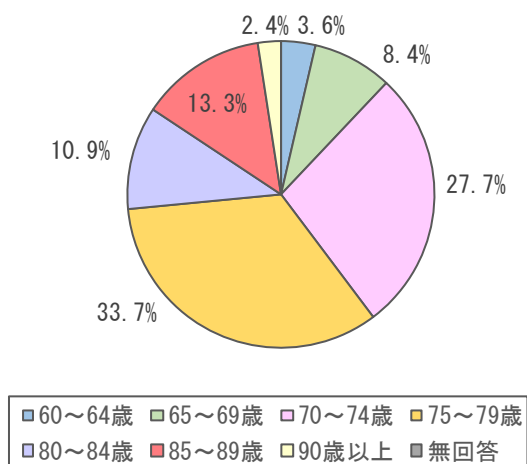
a 第1 老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 60～64歳	2	1.6%
2. 65～69歳	21	17.2%
3. 70～74歳	26	21.3%
4. 75～79歳	19	15.6%
5. 80～84歳	32	26.2%
6. 85～89歳	17	14.0%
7. 90歳以上	4	3.3%
無回答	1	0.8%
合計	122	100.0%



b 第2 老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 60～64歳	3	3.6%
2. 65～69歳	7	8.4%
3. 70～74歳	23	27.7%
4. 75～79歳	28	33.7%
5. 80～84歳	9	10.9%
6. 85～89歳	11	13.3%
7. 90歳以上	2	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	83	100.0%

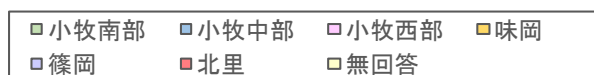
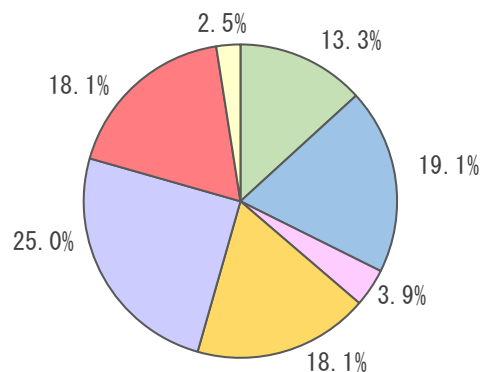


ハ) 居住地区

利用者を居住地区で見ると、篠岡地区が25%と最も多く、次いで小牧中部地区（約19%）の順でした。

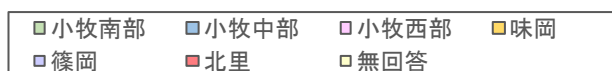
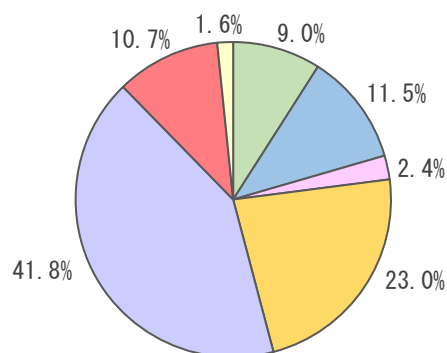
選択肢	件	比率
1. 小牧南部	27	13.3%
2. 小牧中部	39	19.1%
3. 小牧西部	8	3.9%
4. 味岡	37	18.1%
5. 篠岡	51	25.0%
6. 北里	37	18.1%
無回答	5	2.5%
合計	204	100.0%

※複数回答は除外



a 第1 老人福祉センター

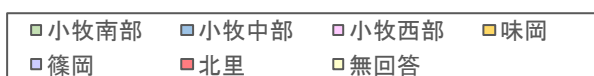
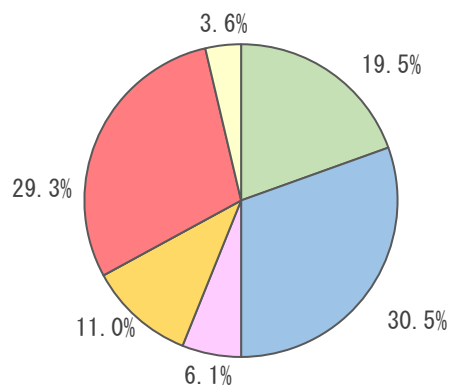
選択肢	件	比率
1. 小牧南部	11	9.0%
2. 小牧中部	14	11.5%
3. 小牧西部	3	2.4%
4. 味岡	28	23.0%
5. 篠岡	51	41.8%
6. 北里	13	10.7%
無回答	2	1.6%
合計	122	100.0%



b 第2 老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 小牧南部	16	19.5%
2. 小牧中部	25	30.5%
3. 小牧西部	5	6.1%
4. 味岡	9	11.0%
5. 篠岡	0	0.0%
6. 北里	24	29.3%
無回答	3	3.6%
合計	82	100.0%

※複数回答は除外

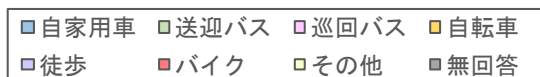
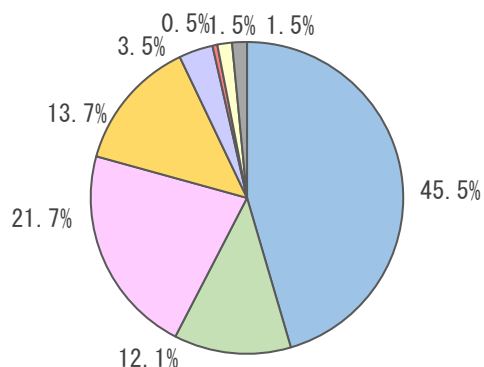


二) 交通手段

利用者の交通手段をみると、自家用車が約46%と最も多く、次いで巡回バス(約22%)の順でした。第2老人福祉センターについては、自転車の割合が高くなっています。

選択肢	件	比率
1. 自家用車	90	45.5%
2. 送迎バス	24	12.1%
3. 巡回バス	43	21.7%
4. 自転車	27	13.7%
5. 徒歩	7	3.5%
6. バイク	1	0.5%
その他	3	1.5%
無回答	3	1.5%
合計	198	100.0%

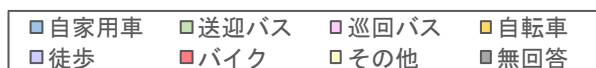
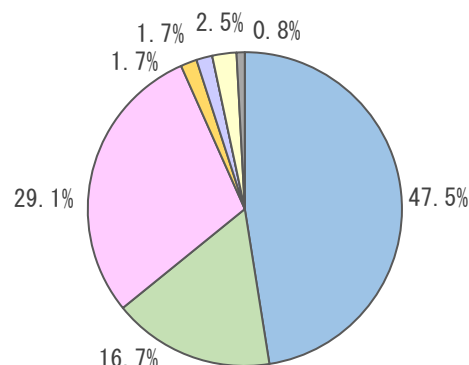
※複数回答は除外



a 第1老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 自家用車	57	47.5%
2. 送迎バス	20	16.7%
3. 巡回バス	35	29.1%
4. 自転車	2	1.7%
5. 徒歩	2	1.7%
6. バイク	0	0.0%
その他	3	2.5%
無回答	1	0.8%
合計	120	100.0%

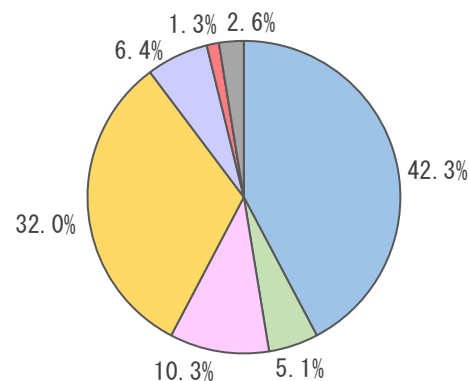
※複数回答は除外



b 第2老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 自家用車	33	42.3%
2. 送迎バス	4	5.1%
3. 巡回バス	8	10.3%
4. 自転車	25	32.0%
5. 徒歩	5	6.4%
6. バイク	1	1.3%
その他	0	0.0%
無回答	2	2.6%
合計	78	100.0%

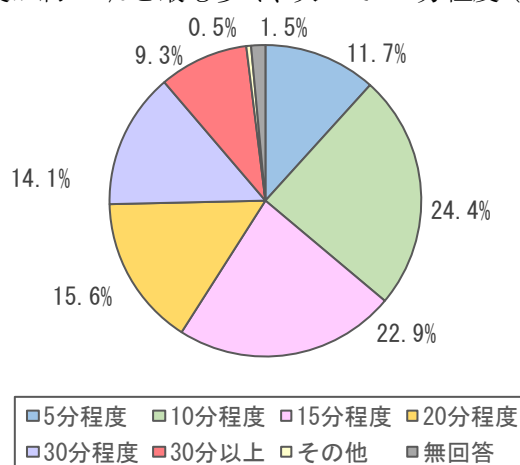
※複数回答は除外



ホ) 老人福祉センター到着までにかかる時間

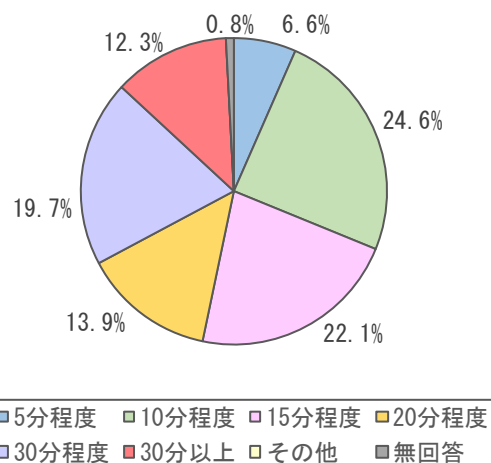
施設到着までにかかる時間をみると、10分程度が約24%と最も多く、次いで15分程度(約23%)の順でした。

選択肢	件	比率
1. 5分程度	24	11.7%
2. 10分程度	50	24.4%
3. 15分程度	47	22.9%
4. 20分程度	32	15.6%
5. 30分程度	29	14.1%
6. 30分以上	19	9.3%
その他	1	0.5%
無回答	3	1.5%
合計	205	100.0%



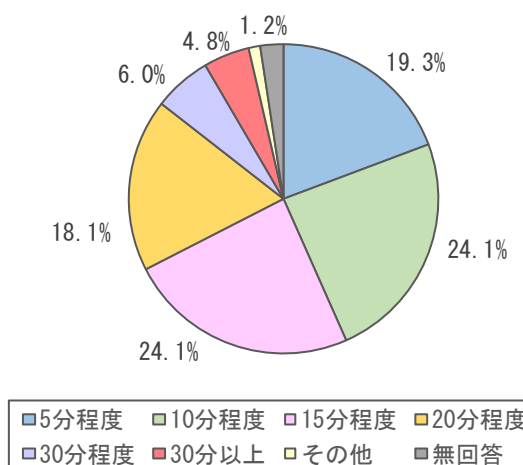
a 第1 老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 5分程度	8	6.6%
2. 10分程度	30	24.6%
3. 15分程度	27	22.1%
4. 20分程度	17	13.9%
5. 30分程度	24	19.7%
6. 30分以上	15	12.3%
その他	0	0.0%
無回答	1	0.8%
合計	122	100.0%



b 第2 老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 5分程度	16	19.3%
2. 10分程度	20	24.1%
3. 15分程度	20	24.1%
4. 20分程度	15	18.1%
5. 30分程度	5	6.0%
6. 30分以上	4	4.8%
その他	1	1.2%
無回答	2	2.4%
合計	83	100.0%

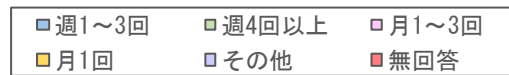
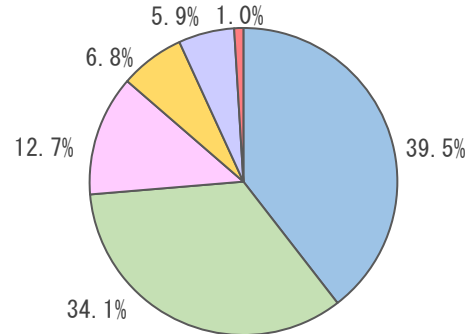


(3) 利用状況

イ) 老人福祉センターの利用回数

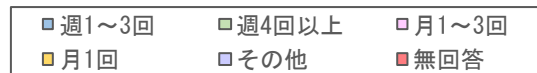
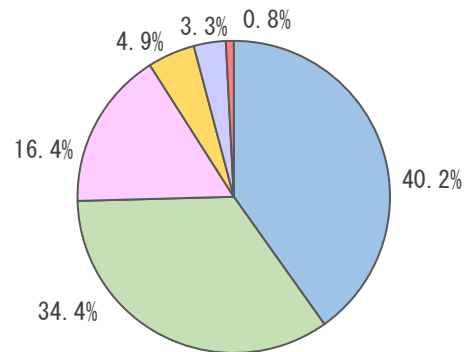
利用者の施設利用回数をみると、「週1～3回」が約40%と最も多く、次いで「週4回以上」(約34%)の順でした。

選択肢	件	比率
1. 週1～3回	81	39.5%
2. 週4回以上	70	34.1%
3. 月1～3回	26	12.7%
4. 月1回	14	6.8%
その他	12	5.9%
無回答	2	1.0%
合計	205	100.0%



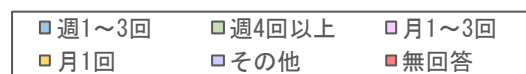
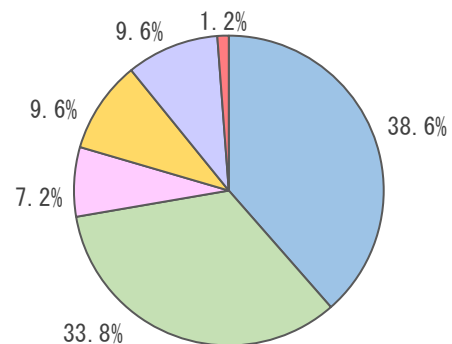
a 第1老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 週1～3回	49	40.2%
2. 週4回以上	42	34.4%
3. 月1～3回	20	16.4%
4. 月1回	6	4.9%
その他	4	3.3%
無回答	1	0.8%
合計	122	100.0%



b 第2老人福祉センター

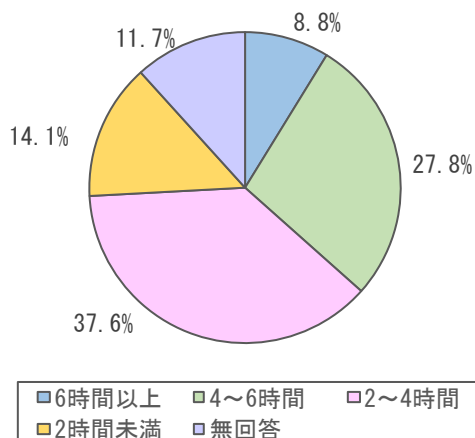
選択肢	件	比率
1. 週1～3回	32	38.6%
2. 週4回以上	28	33.8%
3. 月1～3回	6	7.2%
4. 月1回	8	9.6%
その他	8	9.6%
無回答	1	1.2%
合計	83	100.0%



ロ) 老人福祉センターの1日の平均的な利用時間

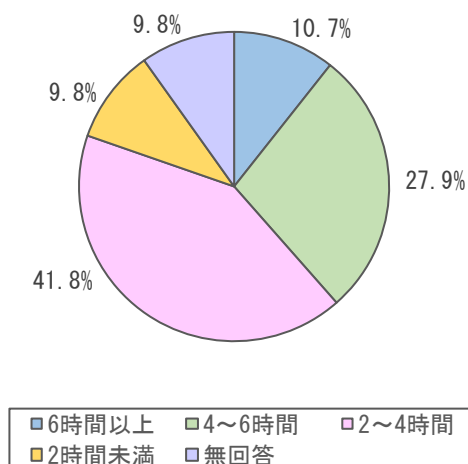
利用者の施設の1日の平均利用時間をみると、「2～4時間」が約38%と最も多く、次いで「4～6時間」(約28%)の順でした。

選択肢	件	比率
1. 6時間以上	18	8.8%
2. 4～6時間	57	27.8%
3. 2～4時間	77	37.6%
4. 2時間未満	29	14.1%
無回答	24	11.7%
合計	205	100.0%



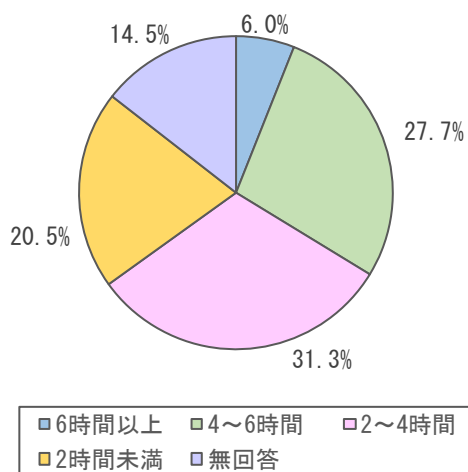
a 第1老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 6時間以上	13	10.7%
2. 4～6時間	34	27.9%
3. 2～4時間	51	41.8%
4. 2時間未満	12	9.8%
無回答	12	9.8%
合計	122	100.0%



b 第2老人福祉センター

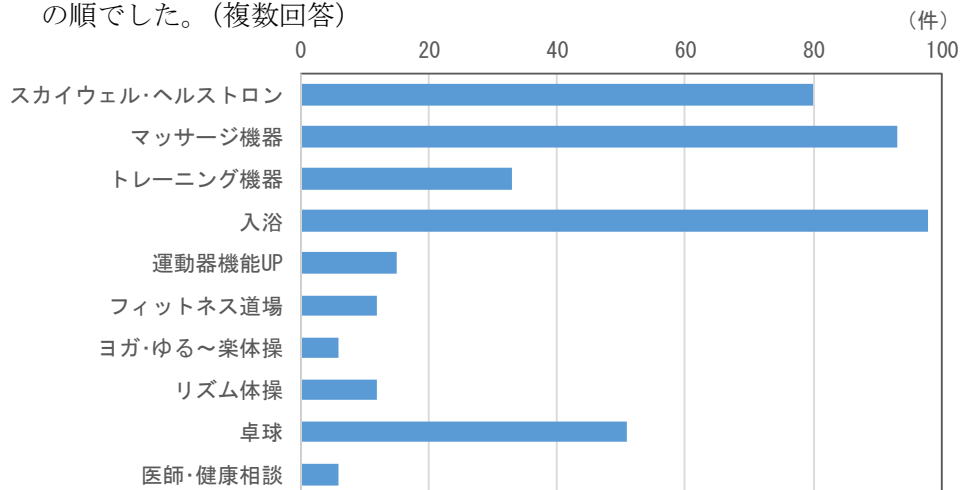
選択肢	件	比率
1. 6時間以上	5	6.0%
2. 4～6時間	23	27.7%
3. 2～4時間	26	31.3%
4. 2時間未満	17	20.5%
無回答	12	14.5%
合計	83	100.0%



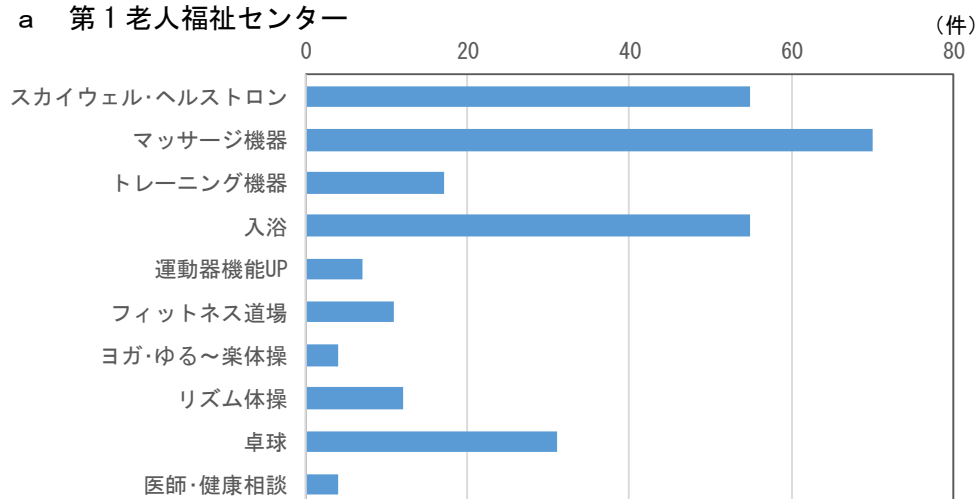
ハ) 老人福祉センターを利用する目的

A. 健康増進

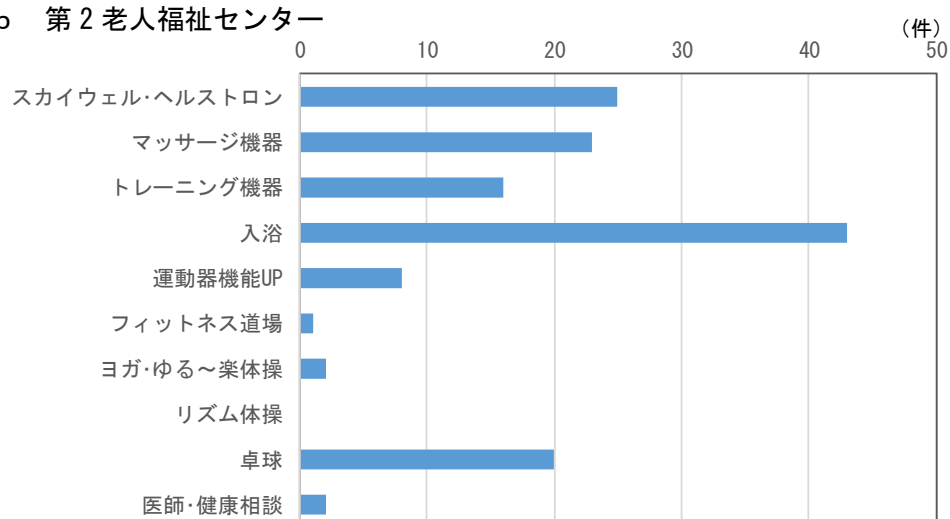
施設を利用する目的を健康増進でみると、「入浴」が最も多く、次いで「マッサージ機器」の順でした。(複数回答)



a 第1 老人福祉センター



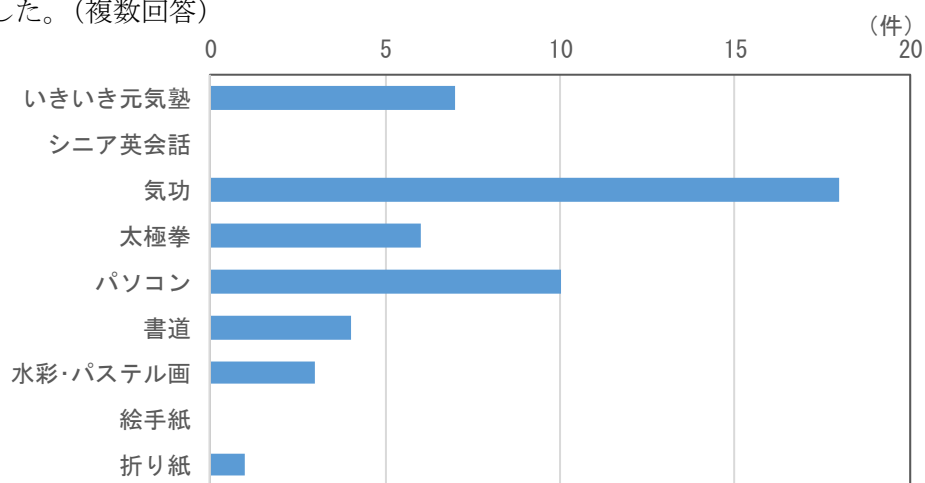
b 第2 老人福祉センター



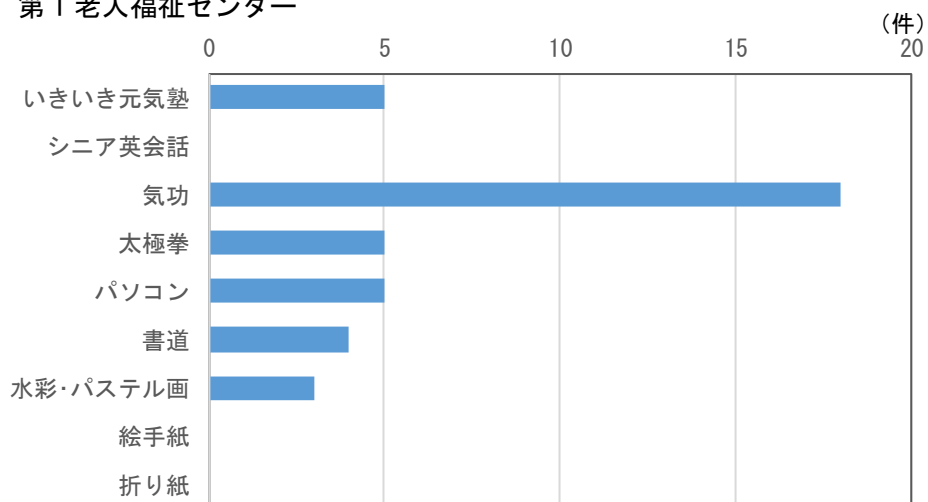
※アンケート期間中に実施されていない内容も含まれています

B. 各種講座

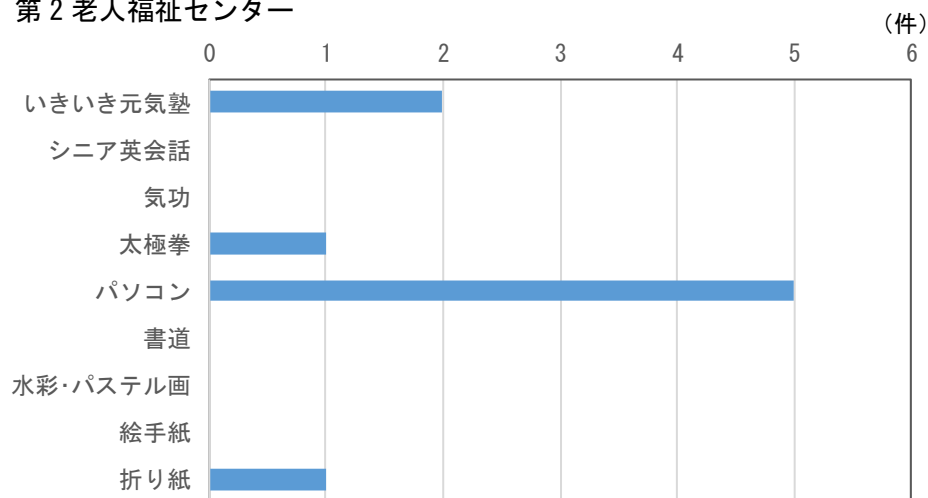
施設を利用する目的を各種講座で見ると、「気功」が最も多く、次いで「パソコン」の順でした。(複数回答)



a 第1 老人福祉センター



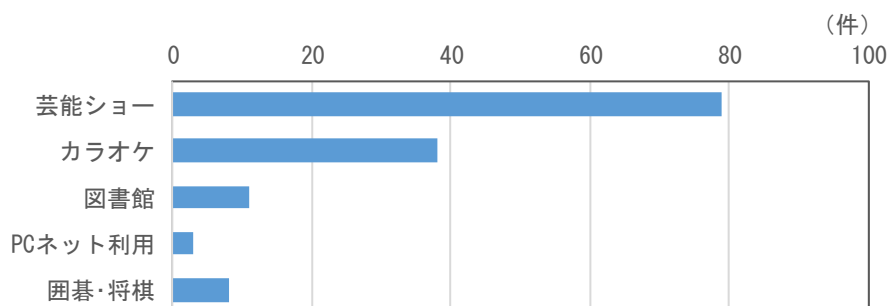
b 第2 老人福祉センター



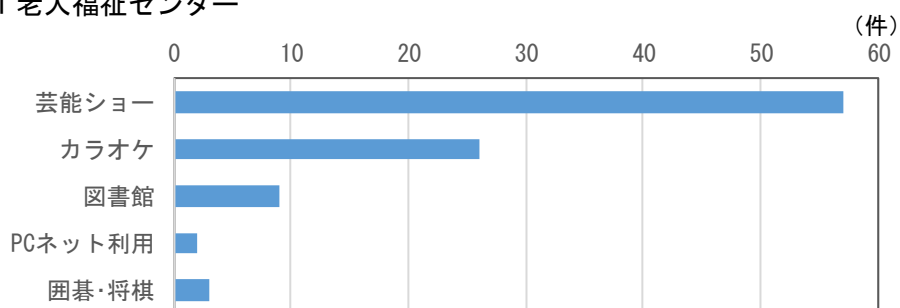
※アンケート期間中に実施されていない内容も含まれています

C. 教養・文化

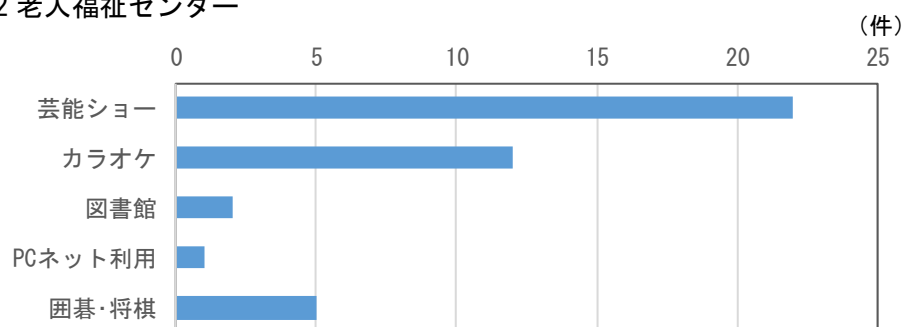
施設を利用する目的を教養・文化で見ると、「芸能ショー」が最も多く、次いで「カラオケ」の順でした。(複数回答)



a 第1 老人福祉センター



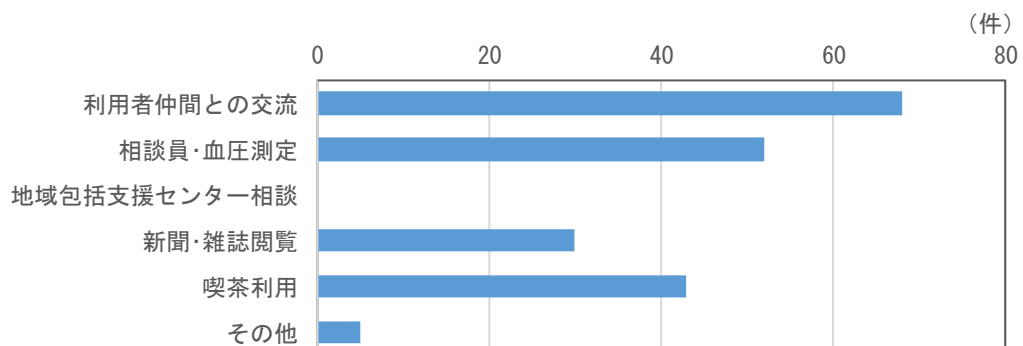
b 第2 老人福祉センター



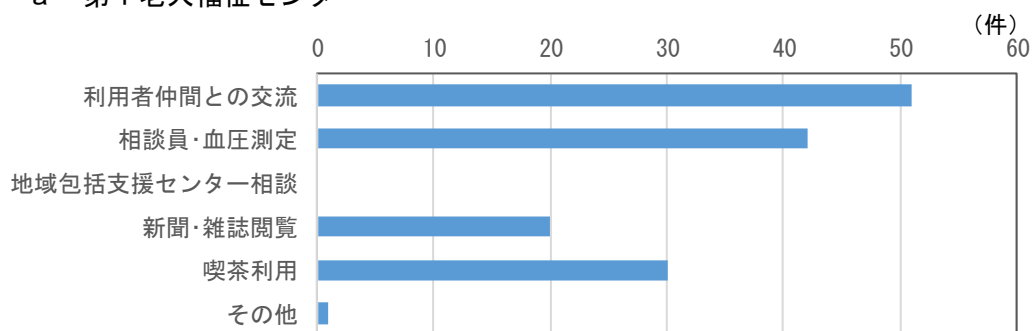
※アンケート期間中に実施されていない内容も含まれています

D. その他

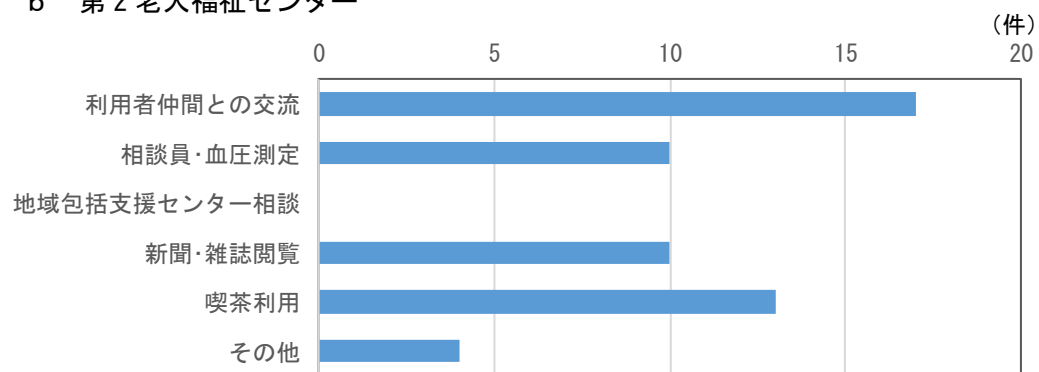
施設を利用する目的をその他でみると、「利用者仲間との交流」が最も多く、次いで「相談員・血圧測定」の順でした。（複数回答）



a 第1 老人福祉センター



b 第2 老人福祉センター

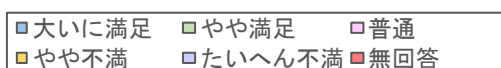
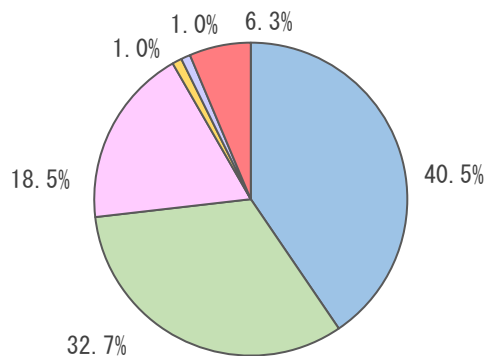


※アンケート期間中に実施されていない内容も含まれています

二) 老人福祉センターの満足度

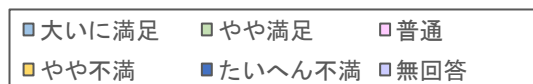
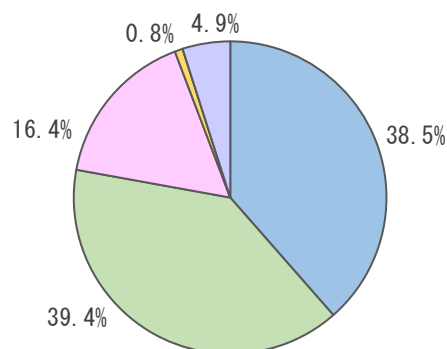
施設の満足度をみると、「大いに満足」が約41%と最も多く、次いで「やや満足」(約33%)の順でした。

選択肢	件	比率
1. 大いに満足	83	40.5%
2. やや満足	67	32.7%
3. 普通	38	18.5%
4. やや不満	2	1.0%
5. たいへん不満	2	1.0%
無回答	13	6.3%
合計	205	100.0%



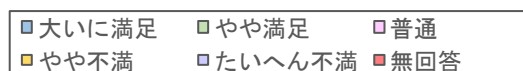
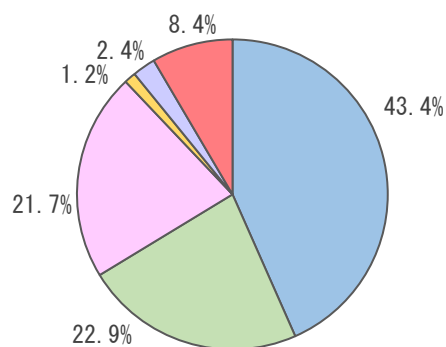
a 第1老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 大いに満足	47	38.5%
2. やや満足	48	39.4%
3. 普通	20	16.4%
4. やや不満	1	0.8%
5. たいへん不満	0	0.0%
無回答	6	4.9%
合計	122	100.0%

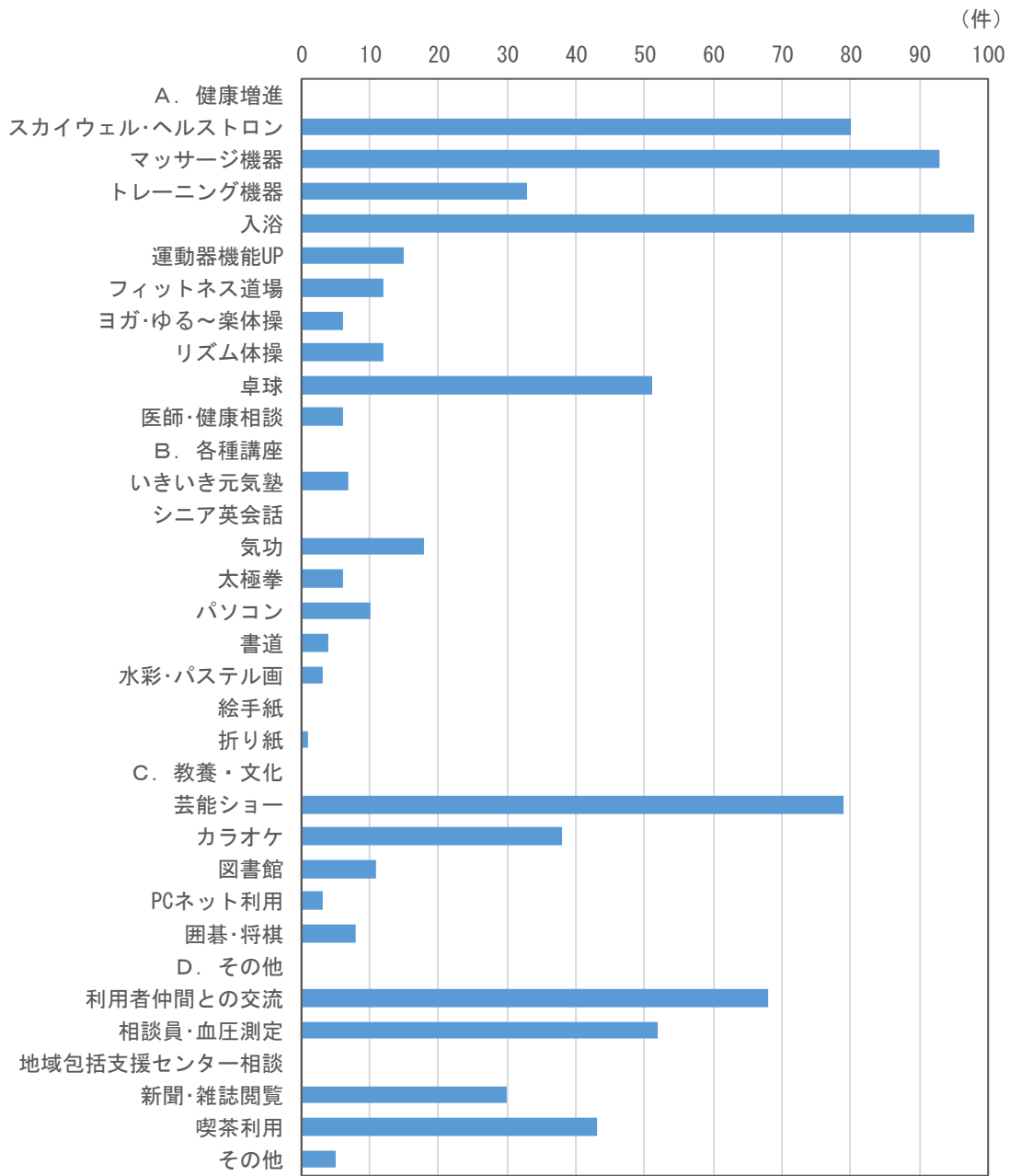


b 第2老人福祉センター

選択肢	件	比率
1. 大いに満足	36	43.4%
2. やや満足	19	22.9%
3. 普通	18	21.7%
4. やや不満	1	1.2%
5. たいへん不満	2	2.4%
無回答	7	8.4%
合計	83	100.0%

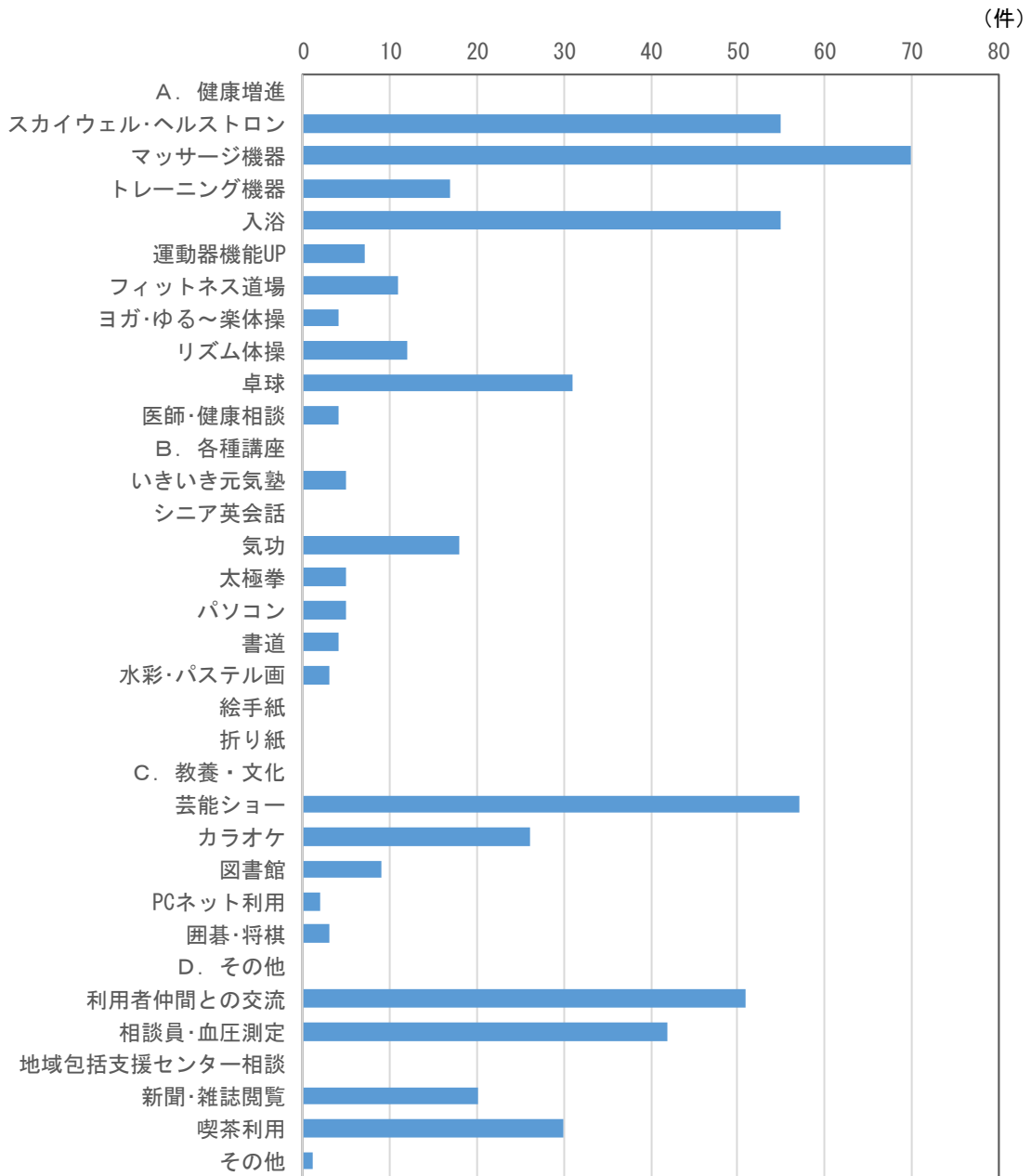


[参考] 施設全体での利用回数

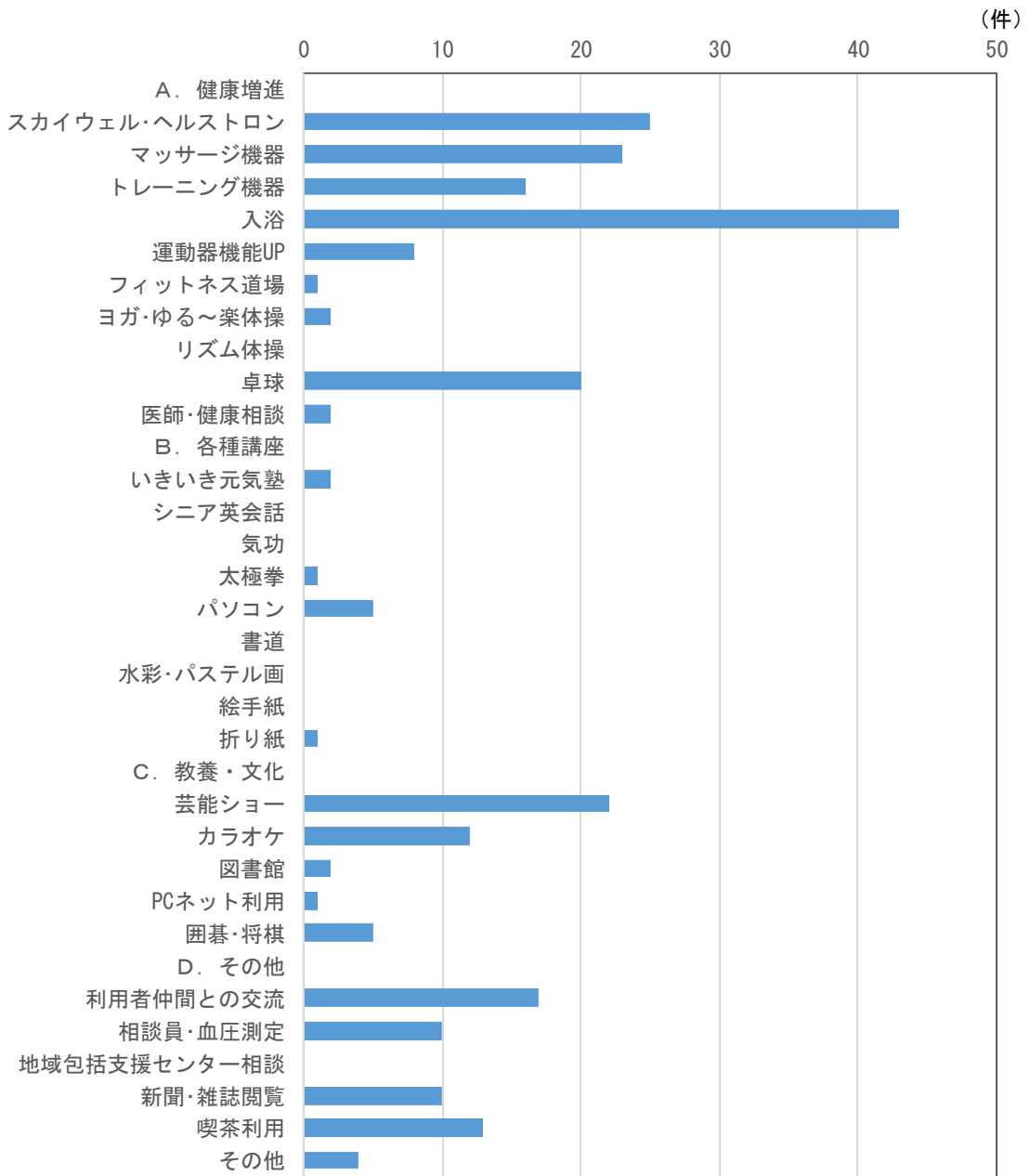


※利用者調査機関（平成 28 年 10 月 19 日、20 日、11 月 1 日）に実施しなかった内容も掲載しています

[参考] 第1 老人福祉センターでの利用回数



[参考] 第2 老人福祉センターでの利用回数



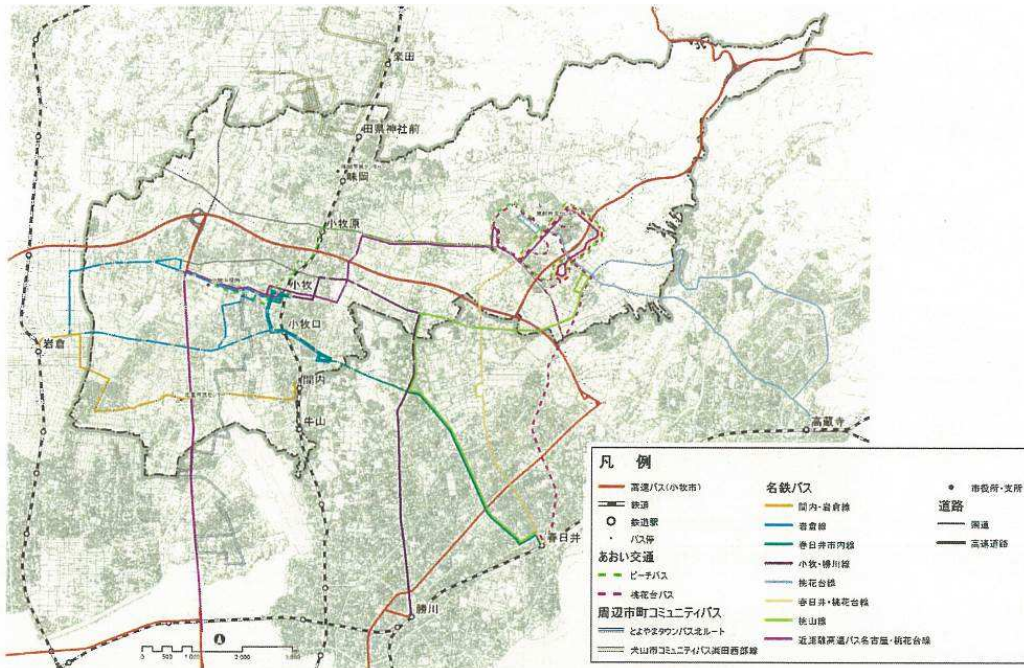
5. 市内公共交通網の状況調査

(1) 運行状況

本市の鉄道は、名鉄小牧線が市中央部を南北方向に縦断しており、市内には小牧駅をはじめ6駅（間内駅を含む）、市境に近接して牛山駅が設置されています。

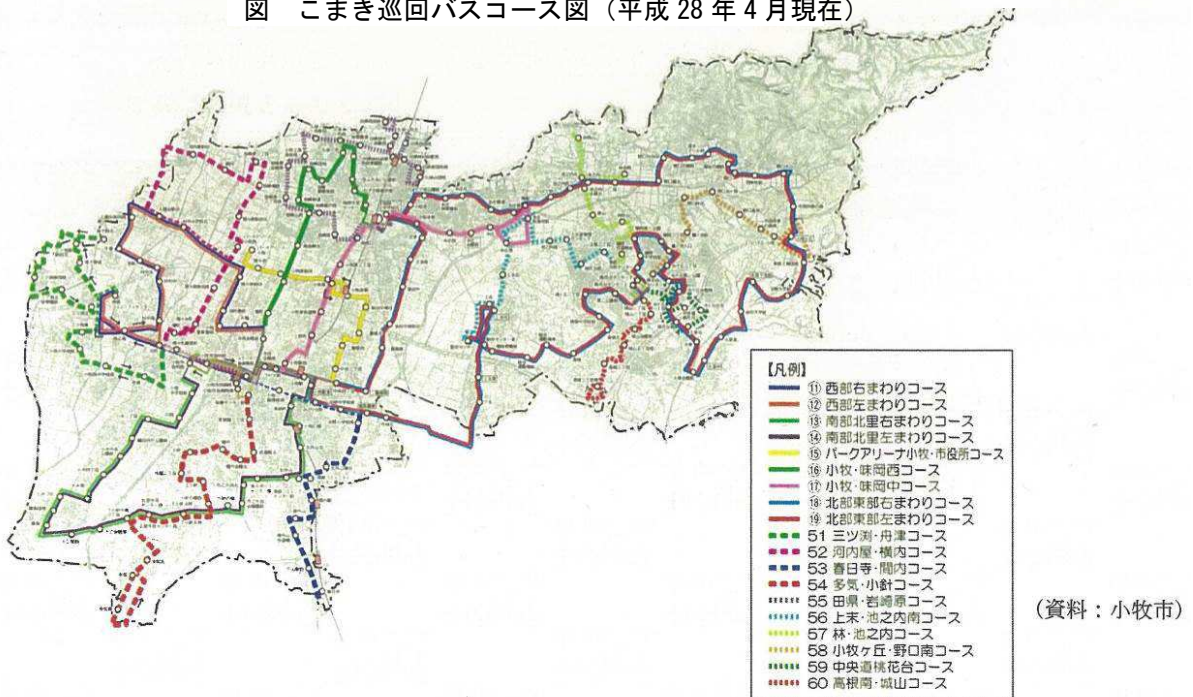
本市のバスは、民間の交通事業者により名鉄バス、ピーチバス、桃花台バスをはじめとする路線バスと近距離高速バスが運行されています。また、中央道桃花台バス停には、近距離高速バス等の高速バスが停車します。さらに、本市ではこまき巡回バスを運行しており、隣接する犬山及び豊山町による犬山市コミュニティバス、とよやまタウンバスが運行されています。

図 路線バス路線網図（平成28年4月現在）



(資料：小牧市公共交通マップ、国土数値情報)

図 こまき巡回バスコース図（平成28年4月現在）



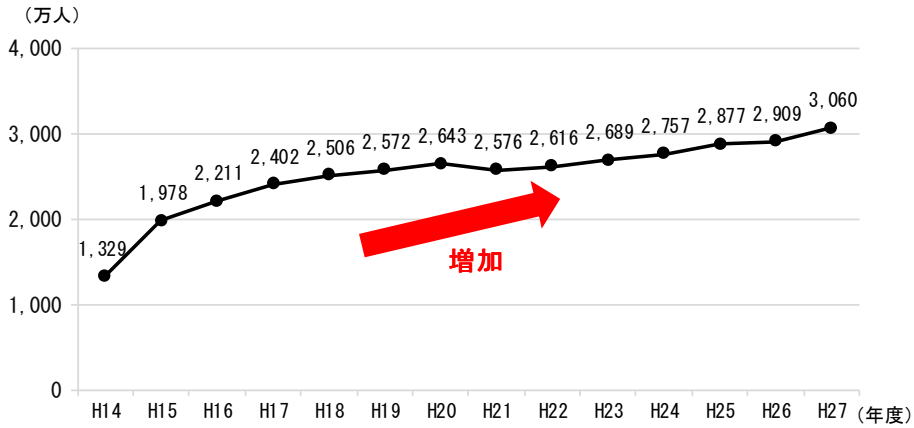
(資料：小牧市)

(2) 利用状況

イ) 名鉄小牧線の乗降客数

名鉄小牧線の乗降客数（犬山駅から平安通駅までの合計）は年々増加しており、平成27年度には、年間約3,060万人）となっています。

図 名鉄小牧線乗降客数の推移

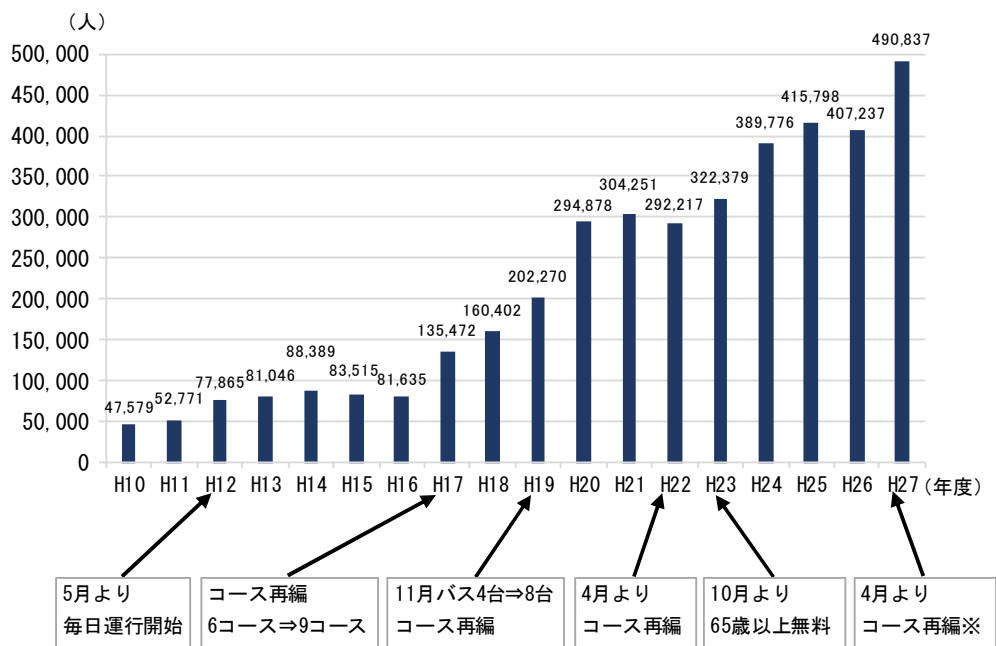


ロ) こまき巡回バスの利用者数

こまき巡回バスの利用者数は、路線の拡充や運行頻度の増加等のサービス水準の向上に伴い、増加傾向にあります。

平成27年4月の路線再編により利便性向上を図った結果、平成27年度利用者数は前年から約8万人増加しています。

図 こまき巡回バスの利用者数の推移



※4月より南部・中部・西部・北里地区のコース再編、
市内全域で8コース8台→13コース13台

6. 老人福祉センター施設構成の検討

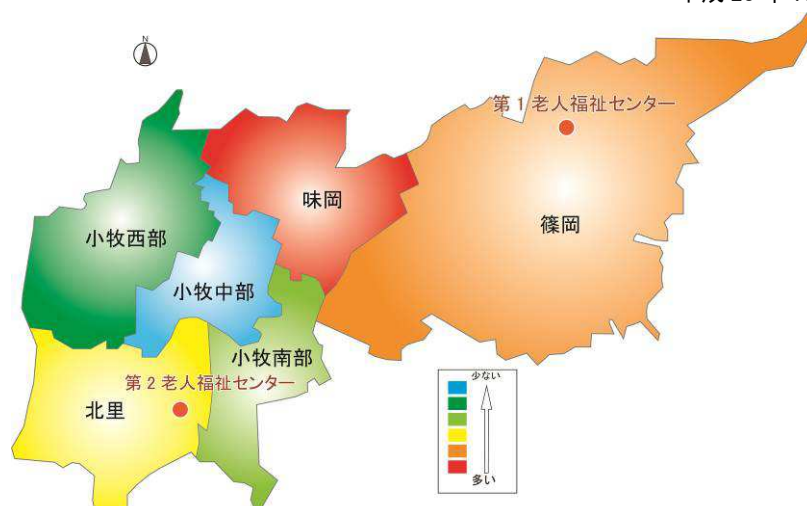
(1) 第3老人福祉センター新設の必要性

イ) 高齢者数

高齢者数で比較してみると最も高齢者が多い地区は、篠岡地区でした。続いて味岡地区、北里地区、小牧南部地区、小牧西部地区、小牧中部地区の順でした。

地 区	小牧南部	小牧中部	小牧西部	味岡	篠岡	北里
高齢者数(人)	4,713	4,261	4,590	8,188	8,501	5,222

平成 28 年 10 月 1 日

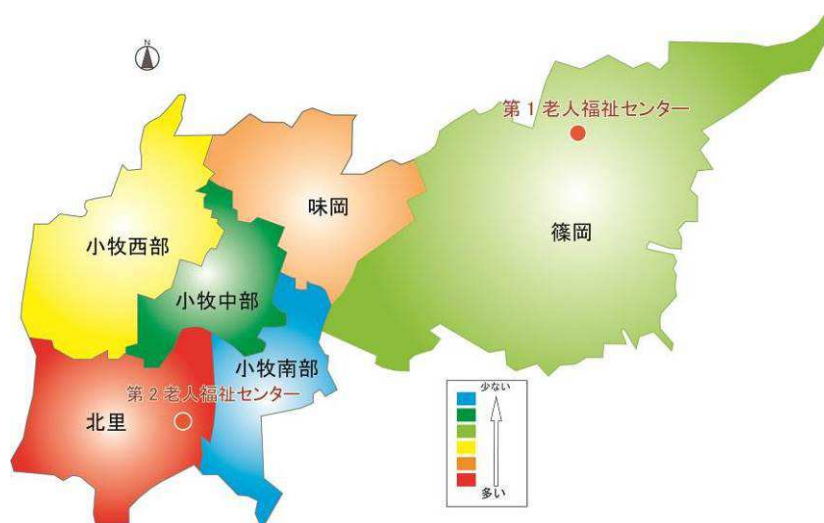


ロ) 高齢化率

高齢化率で比較してみると最も高齢化率が高い地区は、北里地区でした。続いて篠岡地区、味岡地区、小牧西部地区、小牧中部地区、小牧南部地区の順でした。

地 区	小牧南部	小牧中部	小牧西部	味岡	篠岡	北里
高齢化率(%)	19.6	20.0	22.8	24.3	24.6	26.4

平成 28 年 10 月 1 日

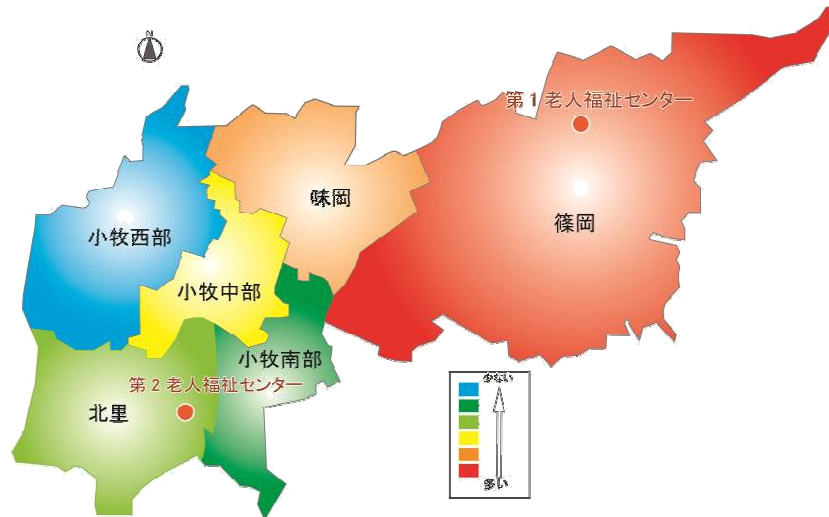


ハ) 第1 老人福祉センターに通っている人

第1 老人福祉センターに通っている人を地区別で比較してみると、最も多い地区は、篠岡地区でした。続いて味岡地区、小牧中部地区、北里地区、小牧南部地区、小牧西部地区の順でした。

地 区	小牧南部	小牧中部	小牧西部	味岡	篠岡	北里
人数	11	14	3	28	51	13

※無回答2名 利用者調査（平成28年10月19日、20日、11月1日）

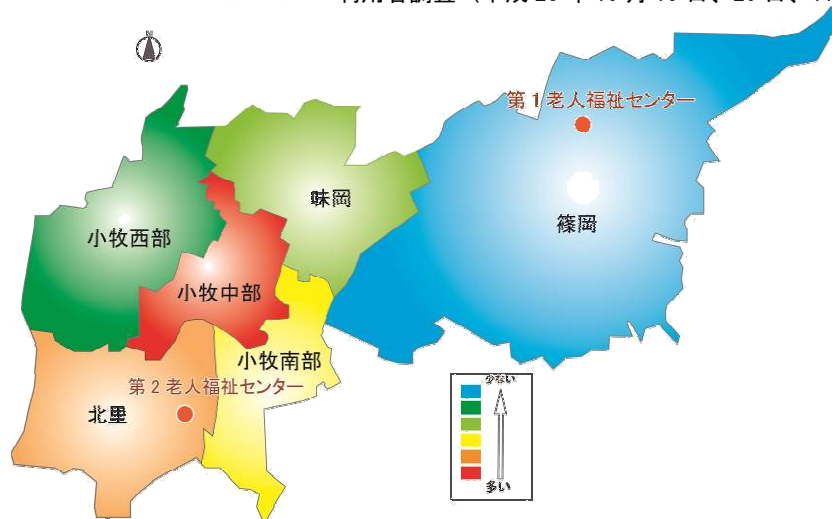


二) 第2 老人福祉センターに通っている人

第2 老人福祉センターに通っている人を地区別で比較してみると、最も多い地区は、小牧中部地区でした。続いて北里地区、小牧南部地区、味岡地区、小牧西部地区、篠岡地区の順でした。

地 区	小牧南部	小牧中部	小牧西部	味岡	篠岡	北里
人数	16	25	5	9	0	24

※無回答3名 利用者調査（平成28年10月19日、20日、11月1日）



ホ) 高齢者 1,000 人あたりの老人福祉センター利用者数

地区別の老人福祉センター利用者数をもとに、高齢者 1,000 人あたりの老人福祉センター利用者数を比較してみると、他の地区に比べ、特に小牧西部地区と味岡地区の順で高齢者 1,000 人あたりの利用者数が少なくなっています。

	小牧南部	小牧中部	小牧西部	味岡	篠岡	北里
高齢者数(人)	4,713	4,261	4,590	8,188	8,501	5,222
第 1 老人福祉センター	小牧南部	小牧中部	小牧西部	味岡	篠岡	北里
利用者数	11	14	3	28	51	13
高齢者 1,000 人あたりの利用者数(人)	2.3	3.3	0.6	3.4	6.0	2.5
第 2 老人福祉センター	小牧南部	小牧中部	小牧西部	味岡	篠岡	北里
利用者数(人)	16	25	5	9	0	24
高齢者 1,000 人あたりの利用者数(人)	3.4	5.9	1.1	1.1	0.0	4.6
第 1 及び第 2 老人福祉センターの合計	小牧南部	小牧中部	小牧西部	味岡	篠岡	北里
利用者数(人)	27	39	8	37	51	37
高齢者 1,000 人あたりの利用者数(人)	5.7	9.2	1.7	4.5	6.0	7.1

高齢者数 平成 28 年 10 月 1 日 利用者 P. 18 アンケート結果より



へ) 同規模自治体等の状況

小牧市は老人福祉センターを2施設設置しており、人口1万人あたりの施設数は0.13施設となっています。一方で、老人福祉センターを設置している同規模自治体（人口15～16万人）の設置状況は、人口1万人あたりの施設数が0.18施設となっており、同規模自治体より少ない状況となっています。

仮に第3老人福祉センターが整備され、3施設となった場合の人口1万人あたりの施設数は0.20施設となり、同規模自治体と同等の設置状況となります。

人口10～20万人の55自治体の老人福祉センター設置状況

◆がついている施設の延床面積は複合施設全体のものです。

市町村名	人口（人）	施設名	延床面積（㎡）	施設数	1万人あたり施設数
坂戸市	101,531	城山荘	654	2	0.20
		ことぶき荘	801		
伊勢原市	101,812	老人福祉センター阿夫利荘	1,023	1	0.10
筑西市	103,473	下館老人福祉センター（総合福祉センター内）◆	2,656	3	0.29
		開城老人福祉センター	657		
		明野老人福祉センター（いきがいセンター内）◆	512		
飯田市	103,494	山本老人福祉センター	540	2	0.19
		南信濃老人福祉センター	1,003		
取手市	108,416	老人福祉センターあけぼの（障害者施設との複合）◆	913	2	0.18
		老人福祉センターさくら荘	692		
富士見市	110,398	老人福祉センター「びん沼荘」	1,520	1	0.09
三島市	111,410	老人福祉センター	1,315	1	0.09
多治見市	112,767	老人福祉センター（総合福祉センター内）	504	3	0.27
		滝呂老人福祉センター	970		
		南姫老人福祉センター◆	1,175		
春日市	112,783	春日市老人福祉センター（ナギの木苑）	1,225	1	0.09
彦根市	112,902	中老人福祉センター	1,137	3	0.27
		南老人福祉センター	613		
		北老人福祉センター	1,079		
加須市	113,917	老人福祉センター不老荘	703	3	0.26
		騎西老人福祉センター	700		
		北川辺老人福祉センター	912		
浦添市	114,337	老人福祉センター	959	1	0.09
掛川市	117,792	老人福祉センター山王荘	808	2	0.17
		大須賀老人福祉センター	713		
一関市	121,069	一関老人福祉センター	568	3	0.25
		大東老人福祉センター	629		
		千厩老人福祉センター	594		
大東市	122,461	老人福祉センター（総合福祉センター内）◆	2,670	2	0.16
		諸福老人福祉センター	415		
うるま市	122,692	老人福祉センター（B型）	407	1	0.08
檀原市	123,589	老人福祉センター千寿荘	1,763	1	0.08
延岡市	123,610	北老人福祉センター	740	2	0.16
		南老人福祉センター	562		
門真市	124,677	老人福祉センター	1,214	1	0.08
伊勢市	128,800	伊勢老人福祉センター（福祉健康センター内）	985	3	0.23
		二見老人福祉センター	1,031		
		御園老人福祉センター（ハートプラザみその内）	270		
成田市	132,334	老人福祉センター	735	1	0.08
我孫子市	132,619	老人福祉センターつつじ荘	1,245	1	0.08
木更津市	134,646	老人福祉センター	998	1	0.07
朝霞市	136,909	浜崎老人福祉センター（総合福祉センター内）	964	2	0.15
		溝沼老人福祉センター	1,127		
岩国市	138,378	由宇老人福祉センター	556	2	0.14
		美和老人福祉センター	1,289		
三郷市	139,164	戸ヶ崎老人福祉センター	501	3	0.22
		岩野木老人福祉センター	865		
		彦沢老人福祉センター	674		
土浦市	140,097	老人福祉センター「うらら」	618	3	0.21
		老人福祉センター「湖畔荘」	764		
		老人福祉センター「つわぶき」	718		
沖縄市	141,612	老人福祉センター寿楽園	650	2	0.14
		老人福祉センターかりゆし園	1,414		
桑名市	143,080	北部老人福祉センター	508	1	0.07
守口市	143,983	佐太老人福祉センター	861	2	0.14
		菊水老人福祉センター	1,180		
古河市	144,406	古河老人福祉センター	683	2	0.14
		総和老人福祉センター	1,228		
周南市	146,475	新南陽老人福祉センター	712	1	0.07
深谷市	144,696	老人福祉センター仙元荘	758	4	0.28
		老人福祉センター福寿荘	851		
		老人福祉センター岡部荘	774		
		老人福祉センター花園荘	675		
入間市	149,124	老人福祉センターやまゆり荘	1,533	1	0.07
米子市	149,407	淀江老人福祉センター	752	1	0.07

市町村名	人口（人）	施設名	延床面積（㎡）	施設数	1万人あたり施設数
足利市	150,888	老人福祉センター北幸楽荘	2,239	4	0.27
		老人福祉センター南幸楽荘	2,491		
		老人福祉センター西幸楽荘	2,707		
		老人福祉センター東幸楽荘	1,671		
狭山市	153,054	老人福祉センター宝荘	603	3	0.20
		老人福祉センター寿荘	1,001		
		老人福祉センター不老荘	1,005		
久喜市	154,241	菖蒲老人福祉センター	917	2	0.13
		鷺宮福祉センター	1,494		
上田市	159,271	真田老人福祉センター	516	2	0.13
		武石老人福祉センター寿楽荘	530		
川西市	159,668	久代・・福祉センター	407	3	0.19
		一の鳥居・・福祉センター	556		
		緑台・・福祉センター	883		
栃木市	162,734	栃木市老人福祉センター泉寿園	1,368	2	0.12
		栃木市老人福祉センター福寿園	1,370		
新座市	164,767	老人福祉センター（福祉の里内）◆	6,925	3	0.18
		老人福祉センター	1,113		
		第二老人福祉センター	928		
松阪市	166,577	老人福祉センター	825	2	0.12
		飯高老人福祉センター	849		
浦安市	166,806	老人福祉センター（Uセンター）	2,971	1	0.06
西尾市	171,210	老人福祉センター（総合福祉センター内）	898	2	0.12
		一色老人福祉センター	812		
習志野市	171,861	老人福祉センター さくらの家（総合福祉センターⅡ期棟）◆	3,080	1	0.06
鎌倉市	172,279	腰越地域老人福祉センター	599	1	0.06
高岡市	174,252	東部老人福祉センター	803	4	0.23
		伏木老人福祉センター	667		
		牧野老人福祉センター	570		
		西部老人福祉センター	835		
出雲市	174,948	佐田老人福祉センター「潮の井荘」	736	1	0.06
弘前市	175,721	鷹ヶ丘老人福祉センター	496	5	0.28
		城西老人福祉センター	609		
		老人福祉センター瑞風園	809		
		老人福祉センター祥風園	498		
		石川東老人福祉センター	390		
日立市	182,440	金沢老人福祉センター	818	4	0.22
		本宮老人福祉センター	211		
		老人福祉センター吹上荘	495		
		老人福祉センターはまぎく荘	1,180		
鳥取市	190,960	佐治町老人福祉センター	824	2	0.10
		鹿野町老人福祉センター	1,813		
山口市	193,792	徳地老人福祉センター	854	1	0.05
上越市	196,959	大潟老人福祉センター	646	1	0.05
熊谷市	199,705	老人福祉センター上之荘	1,352	4	0.20
		老人福祉センター別府荘	1,050		
		老人福祉センターひかわ社	1,269		
		老人福祉センター江南荘	1,232		
小牧市	153,471	第1老人福祉センター	1,785	2	0.13
		第2老人福祉センター	1,901		

※人口は平成29年1月1日時点（一部平成28年12月31日時点の自治体あり）

小牧市

人口10～20万人の55自治体の平均

人口15～16万人の5自治体の平均

延床面積（㎡）	施設数	1万人あたり施設数
1,843 (2施設の平均)	2.0	0.13

延床面積（㎡）	施設数	1万人あたり施設数
1,028	2.1	0.15

延床面積（㎡）	施設数	1万人あたり施設数
1,216	2.8	0.18

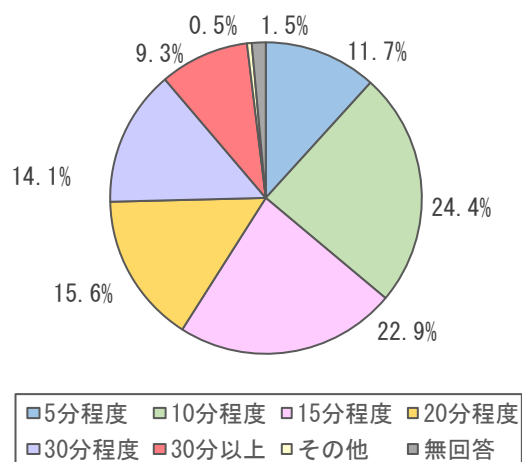
ト) 第3老人福祉センター整備の必要性

高齢者 1,000 人あたりの老人福祉センター利用者数から分かるように、第1及び第2老人福祉センターから距離が離れた小牧西部地区と味岡地区の利用者数は少なくなっています。

また、前述のアンケート結果からも分かるように、老人福祉センターまでの所要時間が15分程度までの利用者が約6割であること、週に複数回利用する利用者が7割を超えていることから、利用者の多くが、老人福祉センターから近い距離に住む高齢者が日常の一部として頻繁に利用していると考えられます。このことから、老人福祉センターから距離のある場所に住む高齢者はあまり施設を利用しないということがわかります。

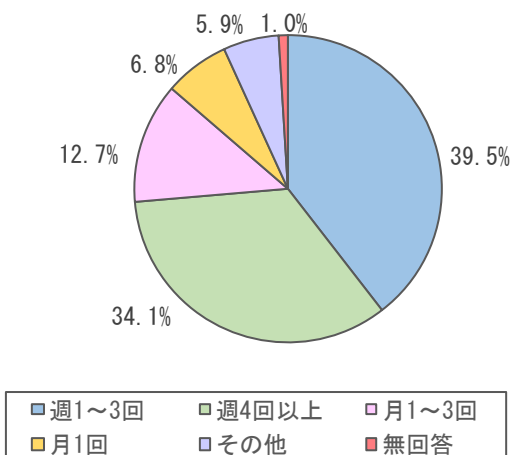
老人福祉センターまでの所要時間（再掲）

選択肢	件	比率
1. 5分程度	24	11.7%
2. 10分程度	50	24.4%
3. 15分程度	47	22.9%
4. 20分程度	32	15.6%
5. 30分程度	29	14.1%
6. 30分以上	19	9.3%
その他	1	0.5%
無回答	3	1.5%
合計	205	100.0%



老人福祉センターの利用頻度（再掲）

選択肢	件	比率
1. 週1～3回	81	39.5%
2. 週4回以上	70	34.1%
3. 月1～3回	26	12.7%
4. 月1回	14	6.8%
その他	12	5.9%
無回答	2	1.0%
合計	205	100.0%



以上のことから、現在小牧市の老人福祉センターが提供するサービスをあまり利用できていない地区が存在する＝地域格差があるという課題を示しているといえます。

加えて、同規模自治体の状況と比較した場合、現在の2施設設置されている状況では、人口1万人あたりの施設数が少ない状態にあり、第3老人福祉センターが整備された状況になると人口1万人あたりの施設数が同等の状態になります。

このことから、現在第1及び第2老人福祉センターで十分にカバーできていない小牧西部地区及び味岡地区に、第3老人福祉センターを整備する必要があると考えられます。

(2) 必要規模の設定

イ) 既存施設の機能・規模の状況

小牧市の既設老人福祉センターの諸室構成及び諸室面積は以下の通りです。なお、第1老人福祉センターは再整備予定で、諸室構成及び諸室面積は再整備後のものです。

既設老人福祉センターの諸室構成及び諸室面積の整理 その1

ゾーン	第1老人福祉センター		第2老人福祉センター	
	諸室	面積 (㎡)	諸室	面積(㎡)
管理 ゾーン	機械室	79.60	機械室	9.00
	備品倉庫	11.20		
	備蓄倉庫	12.50		
	ポンプ室	10.50		
	事務室	38.03	事務室	65.05
	事務給湯室	5.81	ボランティア室	44.55
	事務更衣室	4.30		
	管理人室	6.16		
	業務員室	8.72	業務員室	12.00
	健康相談室	13.38	相談室1	12.70
	相談室	8.39	相談室2	13.73
	WC(男子)	24.90	男子便所	20.98
	WC(女子)	32.75	女子便所	22.98
	福祉WC	4.53	障害者用便所	6.25
	更衣室(男子)	8.64	男性用更衣室	9.68
	更衣室(女子)	8.50	女性用更衣室	9.68
	倉庫1	4.79		
	倉庫2	7.98		
倉庫3	6.15			
小計		296.83		226.57
エントランス ゾーン	ホール	14.66		
	風除室	27.27	風除室	24.00
	下足	17.12	下足	8.00
小計		59.05		32.00
交流ゾーン	交流スペース	108.96	情報コーナー・ロビー	191.68
	談話スペース	101.47		
	食堂風除室	8.52		
	食堂	42.99	喫茶コーナー	64.24
	厨房	12.68	厨房	14.00
	食堂WC	5.84		
	売店	10.50		
小計		290.96		269.92

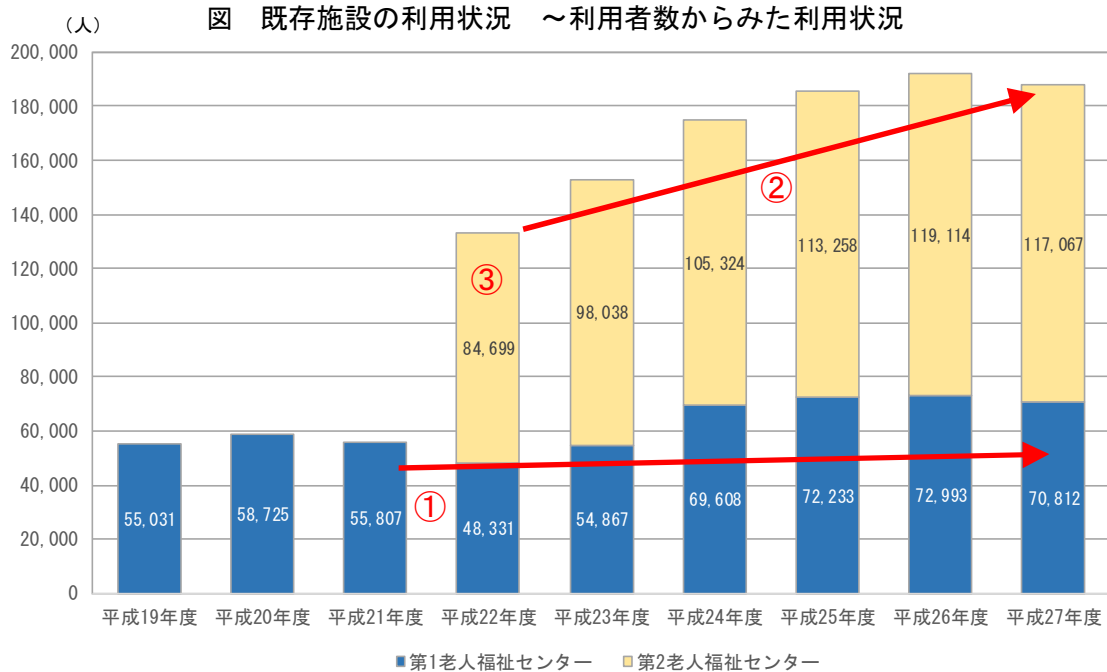
既設老人福祉センターの諸室構成及び諸室面積の整理 その2

ゾーン	第1老人福祉センター		第2老人福祉センター	
	諸室	面積 (㎡)	諸室	面積 (㎡)
コンベンション ゾーン	集会場	177.31	集会室	236.36
	ステージ	54.75	ステージ	61.13
	控室1 (操作)	5.92	倉庫	24.00
	操作2	6.01	控室	18.00
	控室3	6.23		
	縁側	41.75		
	湯沸室	7.53		
	多目的室	50.68		
	会議室	74.67		
小計		424.85		339.49
アクティブ ゾーン	ヘルストロン室	60.80	マッサージ室	46.90
	機能回復訓練室	188.10	機能回復訓練室	162.29
	器具庫	12.47	器具庫	20.00
小計		261.37		229.18
カルチャー ゾーン	図書・情報コーナー	51.72	創作室	48.35
	教養娯楽室	53.65	娯楽室	50.70
	創作室	41.59	教養室	54.50
	和室	30.83		
小計		177.79		153.55
リラクゼーション ゾーン	脱衣室1	33.02	脱衣室A	38.63
	脱衣室2	26.32	脱衣室B	38.63
	浴室1	52.00	浴室A	54.08
	浴室2	55.98	浴室B	54.08
	浴室待合	20.97		
	温室	53.29		
	足湯	11.50		
小計		253.08		185.40
合計		1,763.93		1,436.11

ロ) 既存施設の利用状況 ～利用者数からみた利用状況

利用者数の推移を見ると、第2老人福祉センターがオープンした平成22年度に、第1老人福祉センターの利用者数は若干減少しているだけで、③第2老人福祉センターの利用者数が追加されています。

これは、施設近隣に住む高齢者が頻繁に利用するという利用状況のため、距離の離れた場所の他の老人福祉センターは利用者数の増減にあまり影響しないことを示しているといえます。



また、利用者数の推移では第1老人福祉センターは、第2老人福祉センターがオープンした時期に減少しただけで、全体的に利用者数が増加しており、①このことから施設の新設は既存施設の利用者数にあまり影響を与えないと考えられます。

②長期的に見ても老人福祉センターの利用者数は増加傾向にあるといえます。

これは小牧市の高齢者数の推移及び将来推計とあわせて考えると、今後もこの傾向は続くものと予想されます。

ハ) 既存施設の利用状況 ～利用者の意見からみた満足度

アンケートの個別意見をみると、「卓球台が少ない」、「人数が多くパソコンが使えない」など、利用者が多いため利便性が低下している状況も一部にみられます。しかし、アンケート結果から分かるように施設の満足度では、全体的に高い状況にあります。このことから、既存施設は適切な規模にあると考えられます。

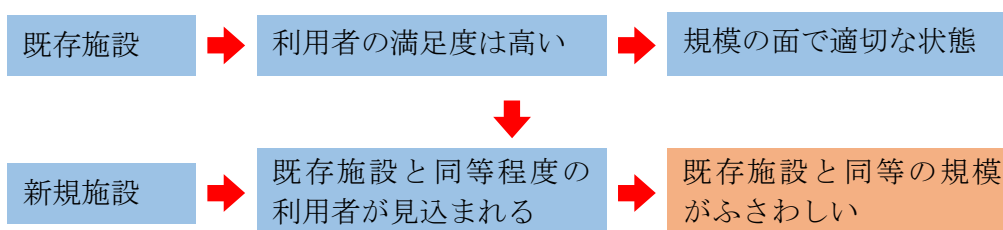
二) 同規模自治体等の状況

同規模自治体の老人福祉センターの施設規模を見ると、施設面積の平均値は、現在の小牧市よりも小さい状況にあります。

ホ) 第3老人福祉センターの施設規模設定

第3老人福祉センターを建設する主な目的は、老人福祉のより一層の向上と現在の地域格差の解消と考えられます。つまり、第3老人福祉センターの敷地は既存施設との位置関係が重要となり、今まで既存施設では十分にカバーできていなかった地区に計画されることが求められます。

このような前提のもと、第3老人福祉センター建設後の利用者数を予測すると、既存施設の利用者数にあまり影響を与えずに、既存施設と同等もしくはそれより多い利用者数が見込まれます。このことは第2老人福祉センターがオープンした年度の利用者数の推移からも妥当であると考えられます。



前述の通り、既存施設の施設規模は適正規模な状況であると考えられ、第3老人福祉センターにも既存施設と同等もしくはそれより多い利用者数が見込まれるため、**第3老人福祉センターの施設規模は、既存施設と同等がふさわしい規模であると考えられます。**

へ) **第3 老人福祉センター新設規模の設定**

施設規模は、既存の第1 老人福祉センターと同規模程度（約 1,800 m²）を基本とします。

(3) 第3 老人福祉センター新設の敷地面積の設定

敷地面積は、最近建設した第2 老人福祉センターと同規模程度（5,000 m²前後）を基本とします。

7. 市所有土地の状況把握

(1) 前提条件

国の定めた老人福祉センターの基準となる「老人福祉法による老人福祉センターの設置及び運営について」(昭和52年社老48)別紙1「老人福祉センター設置運営要綱」には、市内の既存の2施設と同じ特A型の老人福祉センターの立地条件として、「老人の利用上の便宜を図ることが可能であり、かつ、事業を円滑に行うことのできる場所に設置するものとする。」と記されています。また、小牧市では第1老人福祉センターと第2老人福祉センターが既に整備されているため、今回基本調査をする(仮称)第3老人福祉センターを含めた3施設で小牧市全体にサービスを円滑に提供できる場所に整備することが望ましいと考えます。

(2) 検討結果

【抽出の考え方】

既存施設の2施設に新設1施設を加えた3施設で市全体にサービスを円滑に提供できる場所に整備することが望ましいと言う考え方で、以下を候補地として抽出しました。

【抽出する条件】

- ・市街化区域内であること。(市街化調整区域は不可)
- ・開発要件として接道幅員が6m以上であること。
- ・周辺に一定の利用者が見込まれること。
- ・利用者が公共交通機関を利用可能なこと。
- ・敷地面積が5,000㎡程度であり、まとまった形状であること。
- ・コストが抑制できる可能性があること。

【検討結果】

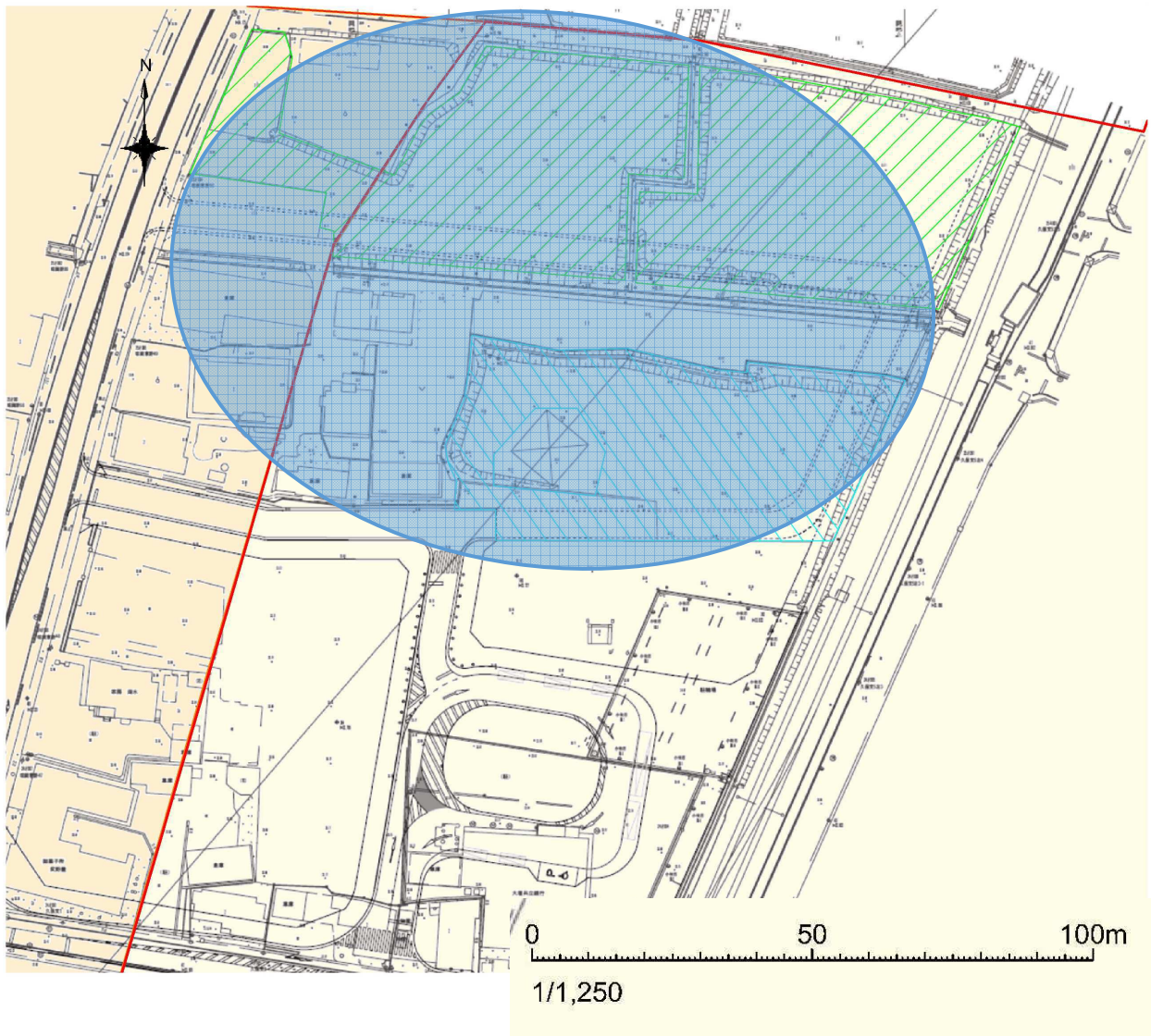
市所有土地の状況を調査した結果、上記条件を満たす土地はありませんでした。このことから、民有地も含めて条件を満たす土地を調査した結果、次の3箇所の候補地を抽出しました。

- 候補地1：久保一色地内
候補地2：間々原新田地内
候補地3：西之島地内






図 候補地の抽出



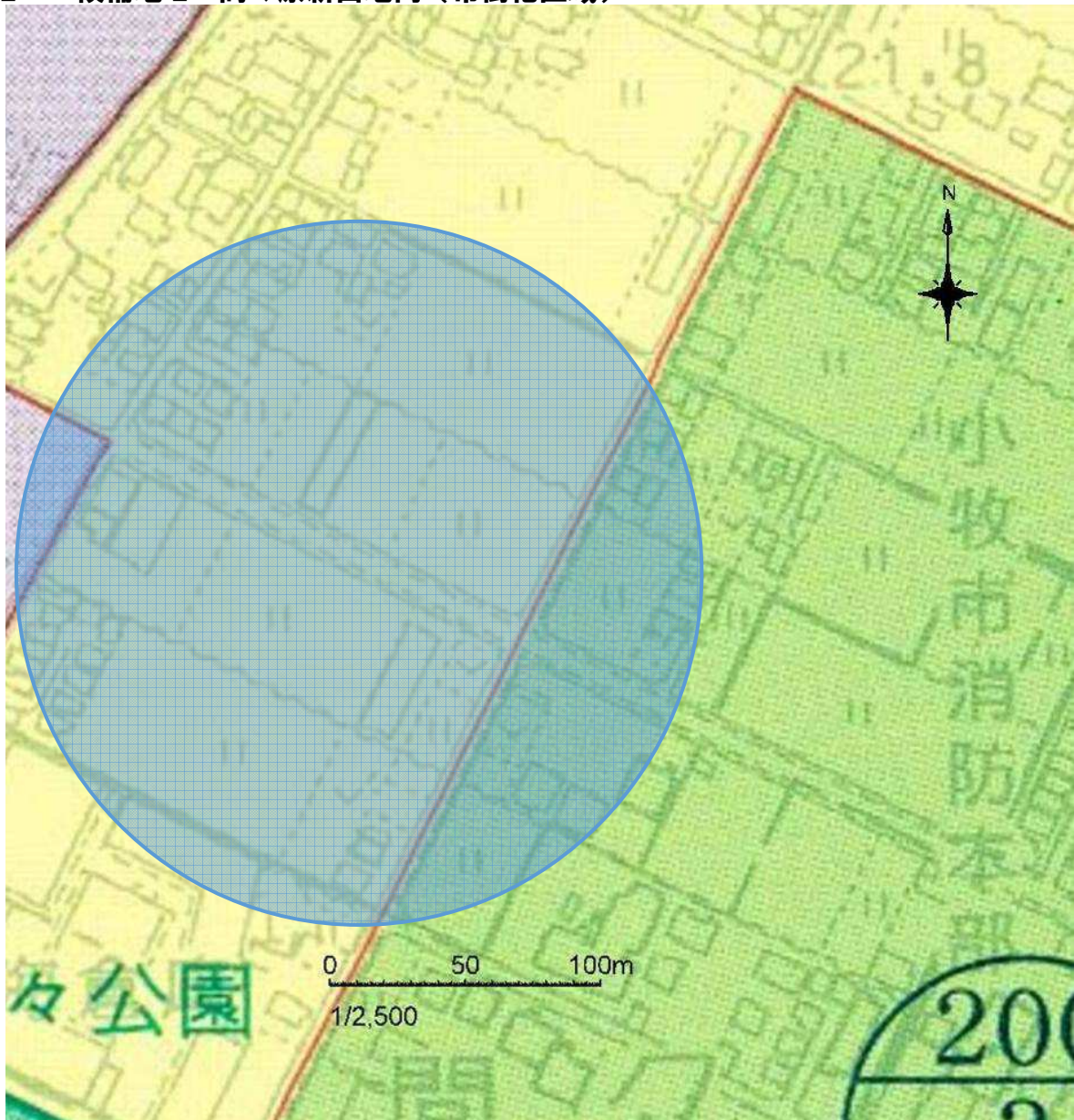
1 候補地 1：久保一色地内（市街化区域）



- 都市計画道路：県道名古屋犬山線 道路幅員：15m
- 立地適正化計画：居住誘導区域、日常生活サービス誘導区域


-  : 候補地
-  : 小牧市土地開発公社所有地
-  : 小牧市用地
-  : 第一種住居地域（建ぺい率 60% 容積率 200%）
-  : 第二種住居地域（建ぺい率 60% 容積率 200%）

2 候補地 2：間々原新田地内（市街化区域）

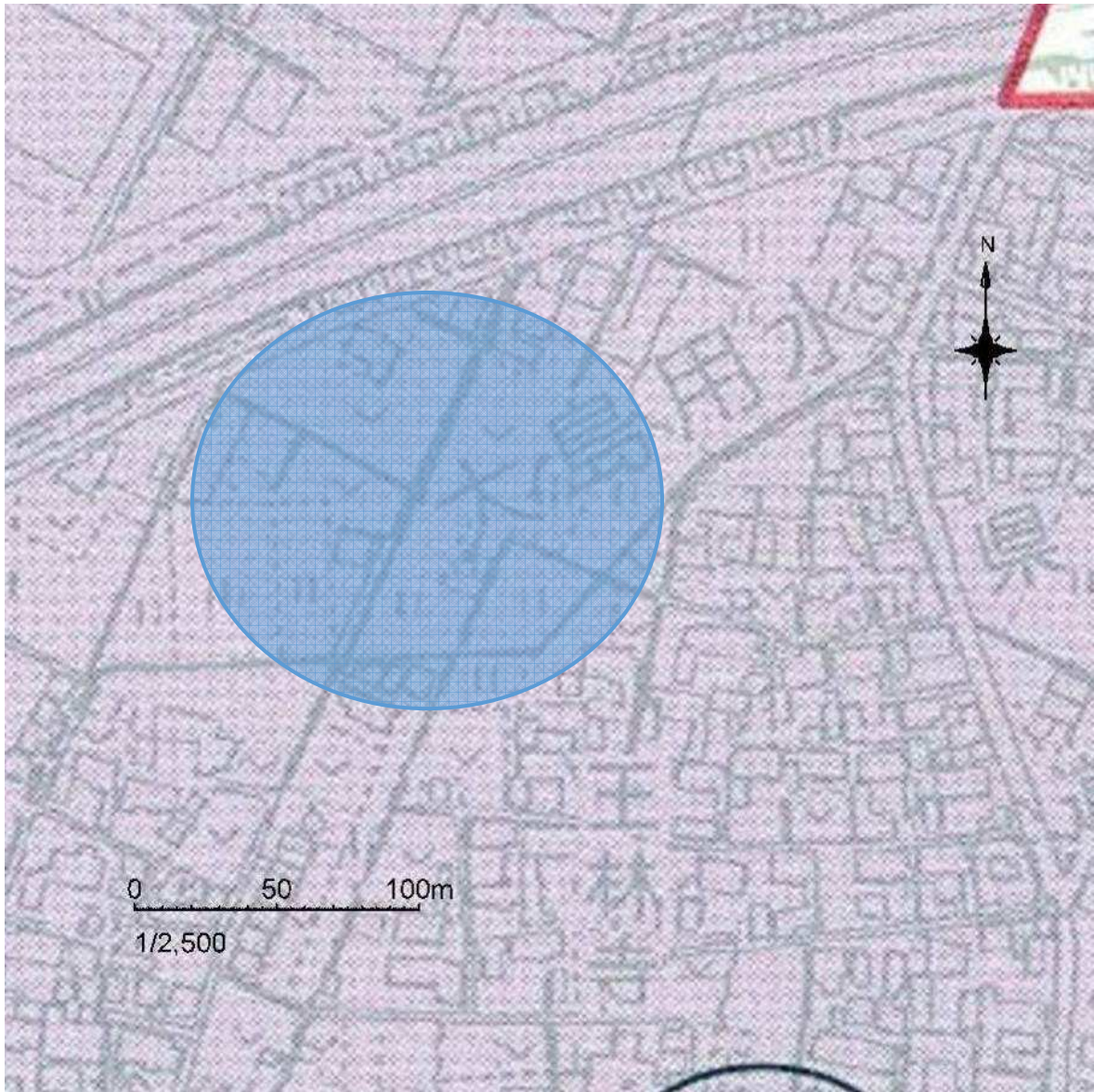


- 市道：市道安田1号線 道路幅員：12m
市道宮西1号線 道路幅員：8m
- 立地適正化計画：居住誘導区域

 : 候補地

 : 第一種住居地域（建ぺい率60% 容積率200%）

3 候補地 3：西之島地内（市街化区域）



●市道：市道小塚山1号線 道路幅員：6m

●立地適正化計画：居住誘導区域

：候補地

：準工業地域（建ぺい率 60% 容積率 200%）

8. 建設候補地の検討

(1) 検討項目

候補用地を比較検討するにあたって、①法規制の視点、②利用者の視点、③施設条件の視点、④コスト等、という4つ視点で評価項目を設定しました。

評価項目		評価内容	評価
法規制	接道条件	・2面以上が6m以上の道路に接道している場合	5
		・1面が6m以上の道路に接道している場合	3
		・どの面も6m以上の道路に接道していない場合	1
	立地適正化	・敷地が日常生活サービス誘導区域に位置する場合	5
		・敷地が居住誘導区域に位置する場合	3
		・敷地がどちらにも位置しない場合	1
満点小計			10
評価項目		評価内容	評価
利用者	近隣住民	・徒歩及び自転車圏内に多くの住宅がある	5
		・徒歩及び自転車圏内に多少住宅がある	3
		・徒歩及び自転車圏内に住宅がない	1
	公共交通機関	・電車とバスでの利用が可能な場合	5
		・バスでの利用が可能な場合	3
		・バスでの利用が不可能な場合	1
	大型バスでの来場	・大型バスでの来場が容易な道路、敷地である	5
		・大型バスでの来場はやや困難な道路、敷地である	3
		・大型バスによる来場が困難な道路、敷地である	1
満点小計			15
評価項目		評価内容	評価
施設条件	用地の面積	・建物及び駐車場を計画できる十分な広さがある	5
		・建物及び駐車場を計画する最低限の広さがある	3
	用地の形状	・敷地が整形でまとまっている	5
		・敷地が不整形もしくは道路等で分割されている	3
	周辺インフラ整備	・インフラ（電気・上下水道）が全て整備済み	5
		・インフラ（電気・上下水道）が一部整備済み	3
・インフラ（電気・上下水道）が未整備	1		
満点小計			15
評価項目		評価内容	評価
コスト等	用地取得費	・市の支出が必要ない	5
		・市の支出が必要	3
	土地所有者の人数	・土地所有者の人数が少ない	5
		・土地所有者の人数が多い	3
満点小計			10
満点合計			50

(2) 検討結果

視点	評価項目		候補地 1	候補地 2	候補地 3
法規制	接道条件	評価	3	5	3
		コメント	1面が6m以上の道路に接道している	2面以上が6m以上の道路に接道している	1面が6m以上の道路に接道している
	立地適正化計画との整合	評価	5	3	3
		コメント	日常生活サービス誘導区域に位置する	居住誘導区域に位置する	居住誘導区域に位置する
	小計			8	8
利用者	近隣住民	評価	5	5	5
		コメント	徒歩及び自転車圏内に多くの住宅がある	徒歩及び自転車圏内に多くの住宅がある	徒歩及び自転車圏内に多くの住宅がある
	公共交通機関	評価	5	3	3
		コメント	電車とバスでの利用が可能	バスでの利用が可能	バスでの利用が可能
	大型バスでの来場	評価	3	5	1
		コメント	大型バスではやや困難	大型バスでの来場が容易	大型バスでは困難
小計			13	13	9
施設条件	用地の面積	評価	5	5	3
		コメント	建物及び駐車場を計画できる十分な広さがある	建物及び駐車場を計画できる十分な広さがある	建物及び駐車場を計画できる十分な広さがない
	用地の形状	評価	5	5	3
		コメント	敷地が整形でまとまっている	敷地が整形でまとまっている	敷地が不整形もしくは道路等で分割されている
	周辺インフラ設備	評価	5	5	5
コメント		インフラが全て整備済み	インフラが全て整備済み	インフラが全て整備済み	
小計			15	15	11
用地関連	用地取得費が必要	評価	3	3	3
		コメント	市の支出が必要	市の支出が必要	市の支出が必要
	土地所有者の人数	評価	5	3	3
		コメント	所有者が4名+公社	所有者が7名	所有者が9名
小計			8	6	6
合計			44	42	32

総合評価		候補地 1	候補地 2	候補地 3
	満点	50	50	50
	結果	44	42	32
コメント	最も評価が高い候補地	候補地 1 と評価の差は、立地適正化計画との整合、公共交通機関、土地所有者の人数の項目 ただし、大型バスでの来場は最も容易	候補地 1 と評価の差は、立地適正化計画との整合、公共交通機関、用地の形状、土地所有者の人数の項目	

【候補地とすべき用地】

上記の検討結果から、既存老人福祉センターへの距離バランスも優れている「候補地 1」に建設するのがふさわしいと考えます。また、「候補地 2」についても「候補地 1」と差が少ないことから遜色はないと考えます。ただし、今後、計画を具体化する際には、関係部署との調整をし、事業を進める必要があります。

9. 建設概算工事算出

現時点での検討した本施設の概算工事費は、第1老人福祉センター改築工事などの近年の事例等を参考にして平米あたり単価を設定し算出しました。

なお、昨今、東京オリンピック等の影響により建設費が高騰（変動）していることから、建設場所が確定した後の計画において精査をしていきます。

延床面積	1,800 m ²
平米当たりの単価 (近年の事例を参考)	37 万円/m ²
概算事業費	667 百万円
設計監理費 (事業費 10%)	67 百万円
合計	734 百万円

*消費税は含まれていません。

*用地取得及び造成に関する費用等は上記に含まれていません。

10. 整備スケジュール案の検討

今後の主なスケジュールは以下のとおりです。なお、用地取得や事前調査の結果によって基礎工事に杭工事が必要と判断された場合は、スケジュールが延長となる可能性もあります。

	1年目			2年目			3年目			4年目			5年目			6年目		
用地選定	■	■	■															
用地関連手続き				■	■	■	■	■	■	■	■	■						
用地取得										■	■	■						
造成関連				■	■	■	■	■	■	■	■	■						
基本計画				■	■	■												
事前調査							■											
基本設計							■	■	■									
実施設計										■	■	■						
積算										■								
確認申請等													■					
建設													■	■	■			
運営計画検討													■	■	■			
指定管理者選定																■		
供用開始																	■	